

皆様とともに歩む、
Digital life planner®



SMART LIFE® REPORT

ピーシーデポ統合報告書

2023



株式会社ピーシーデポコーポレーション
www.pcdepot.co.jp



●本書物は、弊社と本文趣旨に沿った関係者との間の守秘義務の対象となる機密情報、または弊社が著作権を保有する著作物です。本書物等に第三者の著作物等が引用されている場合、引用部分の著作権は引用元に帰属します。本書物の無断で複製、転写、転載、改竄、開示配布は法令に基づき禁止されております。「SMARTLIFE」「デジタルライフプランナー」は株式会社ピーシーデポコーポレーションの登録商標です。



Towards a new way of family reunion

当社は“モノの豊かさから心の豊かさ”“現在価値から未来価値”の実現を目的に、“新たな未来の築き”に取り組むための準備とし、2023年10月27日付で非上場化し、次なる未来へ、ワクワクできる事業の枠組みへ、進みはじめました。

今後においても当社の理念「すべてのお宅にデジタル担当を」は継続し、そして、経営責任者、筆頭株主の変更もございません。現在の店舗施設、拠点運営、会員制、扱う商品などアップデートし、今後は積極的な「人的投資」を進めてまいります。その一つとして、デジタル系資格として世界初となる「生活者のためのデジタル系資格、デジタルライフプランナー」を資格化、地域に根ざしたこの有資格者をもっと増加するため、人的資本に積極果敢に投資を続けていきます。

皆様のくらしを取り巻く社会構造は、今後もデジタル化が進みます。あっちもこっちも、そこらじゅうで、〇〇ペイ、〇〇パス、〇〇アプリ、〇〇ネット、そして多くの窓口は、デジタル画面・AI音声だらけになっています。そのようななか、私たちは“いつもの顔、いつもの声”の有人対応を継続、くらしに貢献できる人材を輩出してまいります。

「デジタル社会になる」、そんな時代だからこそ、会員のご家族皆様との人と人の繋がりを大切にし、ご家族皆様のくらしのお役に立てるよう、未来に向け、これまでも、これからも、もっとご家族様のくらしが楽しくなるよう、全スタッフ一丸となり一生懸命努力します。

デジタル社会ですが、「無理せず、焦らず、ゆっくりと」。大丈夫です。会員の皆様のご家族には、私たちデジタルライフプランナーがついています。ご安心ください。

INDEX

PCデポについて

私たちの歴史	03
理念体系	05
私の社会的存在意義、果たすべき使命	06
デジタルライフプランナー®とは	07
ダイバーシティバックグラウンド	09
くらしに寄り添うデジタルライフプランナー®	11
トップメッセージ	15
ラジオ展開	21

PCデポの経営戦略

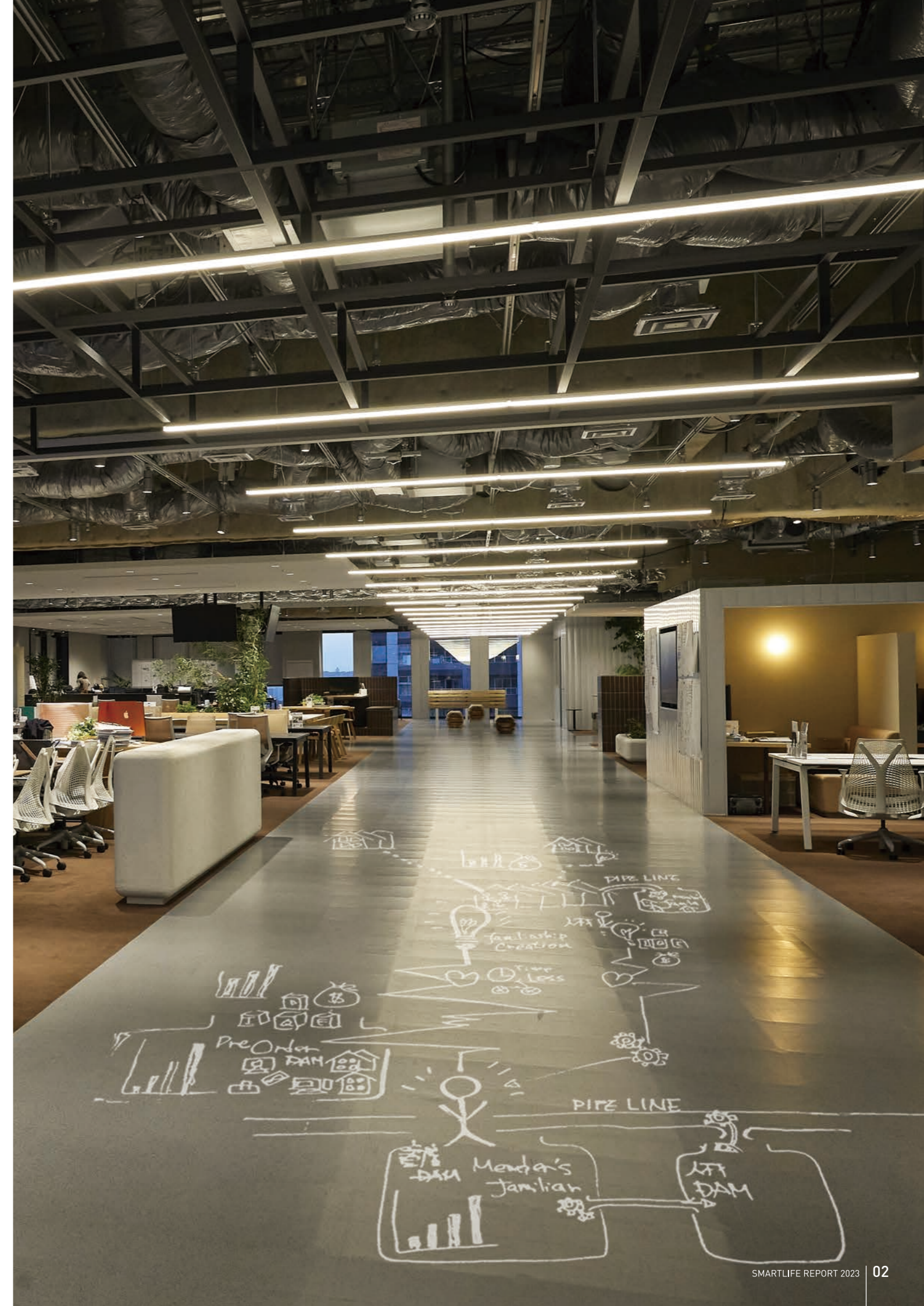
中長期での戦略と強み	23
デジタルライフプランナー®資格制度	25
SMARTLIFE® AO校	31
CLUB HOUSE	34
長野エリアコミュニティビジネスモデル	35
Talk Session対談企画01	
～長野モデルにおけるコミュニティ展開	36
みなとみらいBASE	41
Talk Session対談企画02	
～「デジタル生活の安全」について	43
デジタル生活安全のしおり	45
デジタルパイロット®構想	51
Talk Session対談企画03	
～学びとeスポーツの相関性は!?	53
横濱GGプロジェクト	57

5つの価値提供 ～当社のマテリアリティ～

Social[社会]	63
会員様の声	
Environment[環境]	67
PCデポが取り組む環境対策	
Education[教育]	69
人的資本型モデル	
Entertainment[楽しさ]	74
進化を続ける創造性～グループ会社の取り組み	
eスポーツ教室開校	

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	78
リスクマネジメント	81
役員紹介	83
各種店舗形態	84
財務情報	
財務・非財務ハイライト	85
11カ年主要財務指標	87
会社概要	89
DLPネットワーク	90



デジタル課題、 社会課題解決のあゆみ

ピーシーデポコーポレーションは、創業当初からインターネットやPC関連の「困った」課題を解決してきました。
そして現在、教養と創造をもって、くらしの課題解決に取り組み、デジタルを通して今後のくらしの豊かさをデザインしようとしています。



2019



全てのご家庭にデジタル担当を

デジタルライフプランナー®

デジタルライフプランナー®は将来のデジタル化した社会やデバイスについて会員様と共に考え、ファミリーを中心に、計画的に生活のデジタル価値を創出。友人や隣人などの紹介を受けて広げていく。

2023以降

- 関係人口拡大
Smart Life Club設立の準備中
- デジタルライフ
プランナー® 資格普及
資格制度開始
「SMARTLIFE® AO校」開校

2030

- 人的資本
LTVの実現に向けて

2023
株式非公開化

2025
デジタルを用いた
人による
人のつながり
モデルへ

Philosophy system
理念体系

デジタルを通して くらしを豊かにするということ

Vision デジタル化社会の格差を解消する

Mission 全てのお宅にデジタル担当を

Strategy LTV(Life Time Value)を軸にした経営

当社はさまざまな社会構造の変化に対応し、カスタマーサクセス(将来のデジタル化した社会におけるくらしの価値増加)を実現する企業として上記のVisionとMissionを掲げております。すべてのステークホルダーの皆様にとって、共通の“倫理観・道徳観を備えた持続性を持った社会的存在意義”のある会社として存在でき、将来展望を描けるよう持続可能な経営をデザインいたします。デジタルを通してご家族様の豊かなくらしを創出できるよう、「一家に一人のデジタル担当」として貢献してまいります。

Digital Life Planner®

私の社会的存在意義 果たすべき使命

私は有資格者です
使命は豊かなくらしの関係人口増幅です
私は以下の義務を果たします
一、有資格者がいるくらしを普及します
二、この有資格者を地域に普及します



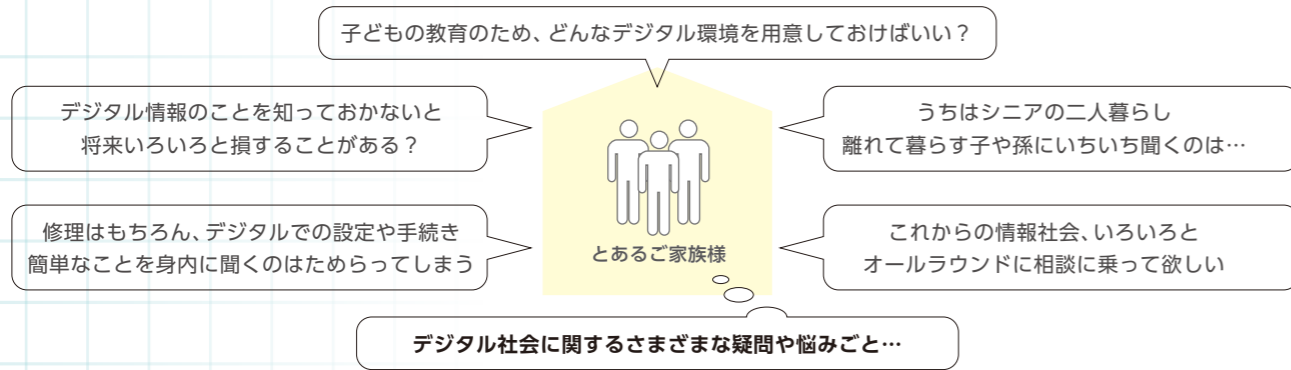
i am
Familiar SurFace professional.
have The Professional PLANT.
with the members familiar.

デジタル時代のアドバイザーだけでなく、
社会全体をつなぐ存在になる

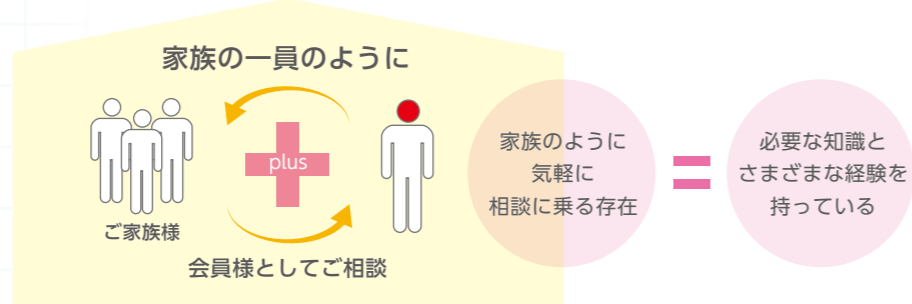
デジタルライフプランナー®とは

デジタルライフプランナーとは、地域社会の未来を見据え、デジタル化が進む現代社会において、個々の家庭や個人に対し、一家団欒と豊かな生活を送るために伴走していく新しい職業を担う人です。

どんどん進化していくこれからのデジタル社会に必要な不可欠な職業

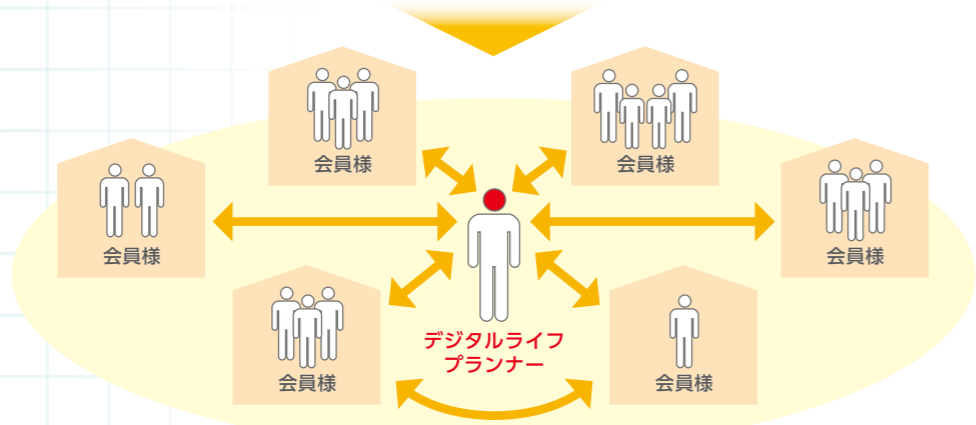


家族のような感覚で、気軽に話を聞いてくれる(解決してくれる)人がいてくれたら…



デジタル社会に必要な「くらしのパートナー」=デジタルライフプランナー(DLP)という存在

一家に一人、デジタルライフプランナーの時代へ



家族の輪だけでなく、会員様同士の「思い」や「活動」をつなげていくのもDLPの役割

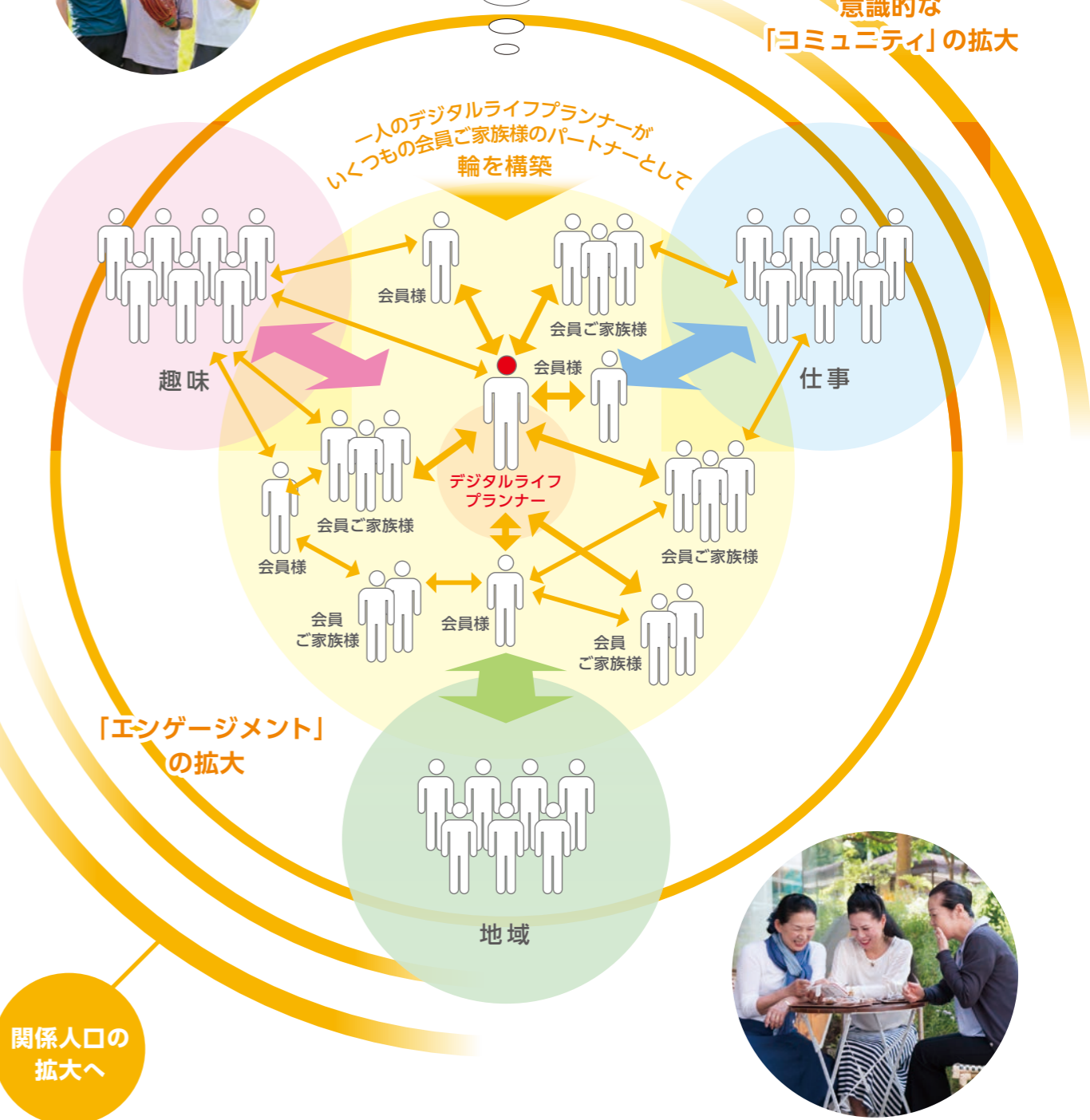
広がるデジタルライフプランナー®の役割

デジタルライフプランナーという職業を通じて、
地域社会に貢献していく



DLPを核として、新しいコミュニティが
いくつも生まれていくような社会づくりへ

意識的な
「コミュニティ」の拡大



デジタルライフプランナーが地域の各家庭に普及し、多様な背景を持つ人々がこの役割を担うことで、街に暮らす人々がデジタル化の恩恵を享受しやすくなると期待されています。これにより、未来のお茶の間が楽しい作品のようにデザインされ、より良い地域社会の形成に貢献することを目指しています。

多種多様なデジタルライフプランナー®

ダイバーシティ バックグラウンド

何のために 誰のために どんな未来のため どんな自分らしさのため

自立自走の
明確なビジョン

これから社会に出る方(学生)、自身のキャリアアップを目指す方、リターンやIターンでの転職、上記の考えをベースに、現時点で考えが定まっている方、これから考えていく方も、「しっかりと仕事への思い(ビジョン)」を描けるのであれば、誰でもチャレンジできるのがデジタルライフプランナーという職業資格です。



DLP職業資格の特徴

DLP職業資格は、コミュニケーションやリーダーシップといったソフトスキルを核とし、IT技術や情報管理のハードスキルを融合させた全人格型スキルを養います。

学ぶ上で必要とされる主なソフトスキル

コミュニケーション能力 / リーダーシップ力
課題解決力 / 論理的思考力 / マネジメント力 / etc

学ぶ上で必要とされる主なハードスキル

各デバイスやITスキル / データやリスク分析
情報収集 / マーケティング知識 / 語学力 / etc

パーソナリティスキル

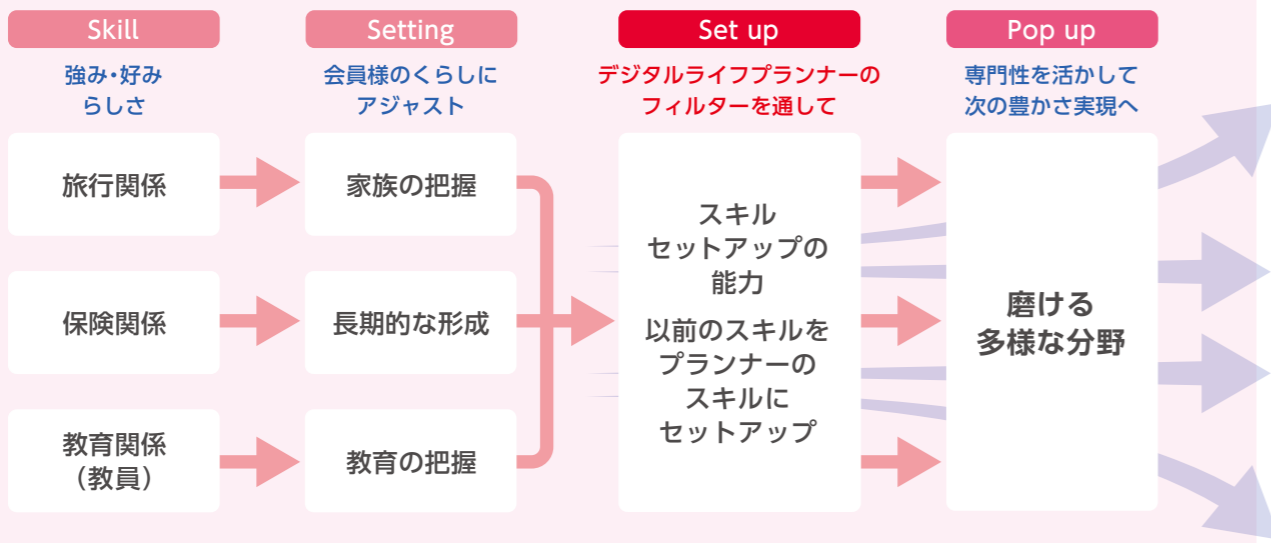
人柄はもちろん、キャリアアップ&転職の方は、**前職での経験・知識のセットアップがより強みに繋がります**

例えば...



バックグラウンドで活かせる対人スキル

デジタルライフプランナーは、会員様の生活に合わせたスキルを用いて、信頼関係を築きます。対人スキルを会員様の暮らしに適応させ、会員様の暮らしの価値を生み出すプロセスを描いています。



2030年のあるべき姿を踏まえて デジタルライフプランナー®として社会に必要とされる人

使命: デジタル化社会で共通の倫理、道徳観を持った関係人口の拡張

義務: 地域に、デジタルライフプランナーがいる暮らしを普及する
地域に、デジタルライフプランナーを普及する

以上に照らし、安全で教養に溢れかつ健康的な暮らしに貢献する

Diversity

ダイバーシティ/多様性



プロフェッショナルマインドを持った多様なプランナーがネットワークに参画することで、新たな価値やアイデアを創造

多様な人材が学びに参加することで、今まではなかった新たな価値やアイデアの創造、各自の意欲の向上にもつながっていく環境づくり

Open Culture

オープンカルチャー/開かれた姿勢



プロフェッショナルなプランナーが創る文化や価値に触れやすい環境

さまざまな文化や価値に触れやすくなることで風通しの良いこの多様な文化エンゲージがダイバーシティを実現しやすい環境へ

Human Capital Network

人的資本
ネットワーク



プロフェッショナルなプランナーが核となり、関係人口のネットワークが拡大する場を創出する

ダイバーシティの場が核となり、多様な人材(考えや価値)を共有関係人口のネットワークが拡大していくさらには、新たなコミュニティの創出へ

必要とされる 楽しさ × やりがい

経営者視点を持ち自らが稼げる存在

高い専門知識と幅広いネットワーク
を持った頼れる人

Inclusive Professional

インクルーシブ プロフェッショナル



ひとりひとりがプロの自覚を持ち、高い視座を持って永続的に学び続けることが重要。

くらしに寄り添うデジ タルライフプランナー®
広がっています。新しい職業の“輪”



01

地域のアイドル的存在に!

スマートライフ横須賀店

芝田 名月

デジタルライフプランナーより

私にお任せいただければ、ペットの可愛さ大爆発させちゃいます!



02

NYで美容師をしていた私が、
デジタルライフプランナーに

スマートライフ富里インター店

篠原 由佳

デジタルライフプランナーより

母の遺品の整理をした際、PCデポの会員だったことを知りました。パソコンの相談をしに直接お店に行ったところ、プランナーが大変良かったです。ある時、「私たちと一緒に働きませんか」と誘っていただきました。美容師と同じくデジタルライフプランナーも人に喜んでもらえる仕事だと思い、入社を決めました。



05

ワクワクできる
デジタル生活を提案します

スマートライフ足利店

比企 春菜

デジタルライフプランナーより

私の大学生活は、4年間のカフェでのアルバイトと、映像制作がほとんどでした。この経験から、メディアに関わる仕事、大好きな接客、頑張る人が評価される仕事がしたいと思い、今に繋がっています! 会員様の大切な動画や写真を一本の作品にするお手伝いもします!



06

デジタルに関するご相談、
お家に直接おうかがいし
解決します!

スマートライフ長野店

西島 大作

デジタルライフプランナーより

長野県に戻ってきました! これからは長野県に永住します。デジタルを通して集える家庭と一緒に作りましょう! お店から遠いところのお住まいの会員様もお任せください。



03

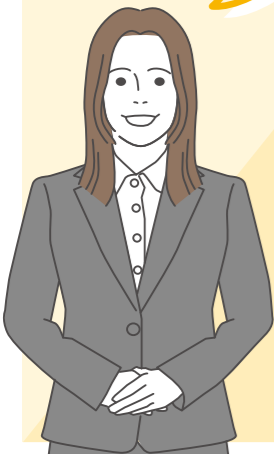
デジタル担当として
普及活動を頑張ります

スマートライフみなとみらい店

水野 理紗

デジタルライフプランナーより

「デジタルが本当に苦手です…」と、初めてお会いしたときにおっしゃっていたお客様でしたが、最近はデジタルを楽しんでくださるようになりました。これからも無理せず、焦らず、少しずつやってみましょう! デジタル担当が身近にいるくらしを広げていくために、普及活動にご協力をお願いします!



04

ご家族をつなぐ、
つなぎ役として貢献していきたい

スマートライフ港南台店

百岳 琴

デジタルライフプランナーより

私自身デジタルの知識がないので、毎日会員様と一緒に調べながらわからないことを解決しています。会員様とも20分程度一緒にやって、『今日はこれくらいにして、また今度おさらいしましょう』と言っています。私も会員様と一緒に楽しんで少しずつ学んでいます。



07

デジタルを通して
家族のような存在に

スマートライフ
長野店
峯村さん



スマートライフ長野店

中島 秀也

デジタルライフプランナーより

家族がPCデポの会員で、パソコンなどの機器のことでなく担当の峯村さんの話ばかり。ここまで家族に溶け込む仕事に興味を持ち、入社を決めました。新入社員でも自分で考えて行動できる職場環境なので、成長しながら楽しんでいます。今後の目標は、地域のなかでデジタル格差をなくし、豊かな生活にすることです。



08

「デジタル全部をお任せしたい」と
言ってもらえることが誇りです

スマートライフ盛岡本店

千葉 弘貴

デジタルライフプランナーより

前職では営業と本社での内勤を経験し、現場では顧客が何を求めているのか察知し、期待の一步先を提案することを意識しました。本社では、社内調整力と誰にでもわかる資料作成力を培いました。それらがすべて、「今」に活かされていると実感しています。これまでの経験が多ければ多いほど、会員ご家族のくらしへの提案の幅も広がります。



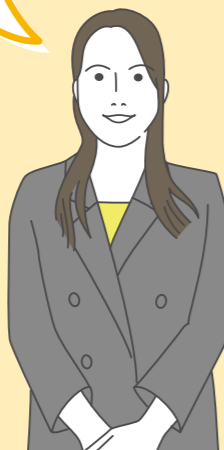
くらしに寄り添うデジ タルライフプランナー®
広がっています。新しい職業の“輪”

09

時代の変化に合わせて
新しいことに挑戦

スマートライフ富里インター店
高木 柚伽
デジタルライフプランナーより

近年、写真をアルバムに残すだけでなく、データで保存し、スマホで見たりSNSにアップすることが当たり前になってきました。お客様から写真をスマホに入れる方法を尋ねられることも増えています。若者の流行を学び、時代の変化に合わせて新しいことに取り組んでいます。




10

“この人たちと一緒に働きたい”と、
アルバイトから新卒で入社

パソコンクリニック湘南平塚店
塩野谷 桃子
デジタルライフプランナーより

高校時代は、写真部の部長でした。プランナーとして会員ご家族と会話していると、表情でなんとなく気持ちがわかるのは、写真を通してたくさんの人と接してきたからだと思っています。培った経験を活かして、会員ご家族の担当として、デジタルを用いて笑顔の輪を広げられるよう、ご家族のくらしに伴走します！



13

家族の一員になった気分で
いつも良くしていただいています！

スマートライフ十日市場店
榎本 美玲
デジタルライフプランナーより

とても仲良しなKさんファミリーは、お子さんが「やりたい！」と言ったことは応援するスタンスです。勉強とゲームを両立するために、戦略をたてて時間を使っているそうです。家族そろってゲーム好きで、それぞれが好きなジャンルを楽しんでいます。特にお子さんは、eスポーツを通じて判断力や瞬発力がついたと実感しているそうです。




14

極真空手と野球、
卓球をやっていました！

スマートライフ港北店
野中 友哉
デジタルライフプランナーより

デジタルはもちろん、家族の一員になれるような、あらゆるスポーツの話題に対応できます。




11

大好きな盛岡のために
働きます！

スマートライフ盛岡本店
小杉 なつみ
デジタルライフプランナーより

就職活動中にPCデポのデジタルライフプランナーと話した際、私の将来を第一に考えてくれて、「この人たちは先を見ている」と感じました。就学前の子どもがいる会員様に安全のしおりを見ていただいて「一緒にやりましょう」とお話ししました。会員様からは「ママ友にも小杉さんを紹介するね」と言ってもらい嬉しかったです。




12

笑顔を爆発させます

スマートライフ長岡店
阿部 日菜子
デジタルライフプランナーより

前職は美容師と帽子の販売をし、店長を担当していました。現在はデジタルライフプランナーになり、接客をはじめ、電話対応から和気あいあいのコミュニケーションなど、前職が役に立ち、幅広くビジネスに対応できます。




15

「料理」も家族と一緒にの空間で、
時間短縮に伴走します

スマートライフふじみ野店
稲生 竜太
デジタルライフプランナーより

美味しいと思ったものは自分で作れるようにならないと気が済まないです！iPadでレシピを見たり、デジタルを用いて料理することで楽しみは倍以上になります。会員ご家族にも、キッチンを囲んでお子さまと一緒に料理をしたり、時間短縮することで団らん時間を増やすことができるようお手伝いいたします。




16

焦らず、無理せず、
よくばらず行きましょう

スマートライフ所沢有楽町店
大塚 瑞稀
デジタルライフプランナーより

お客様からさまざまなデジタル機器に関する相談を受けています。デジタル機器の操作は得意な方でしたが、人に教えることは別物であることに気がきました。お客様の生活を豊かにするためには、より深い知識が必要だと感じ、日々勉強に励んでいます。お客様から学ぶことも多く、今後も信頼関係を築いていきます。



社会がデジタル化しても、 「いつもの顔」「いつもの声」で、 皆様のくらしに伴走していきます

株式会社ピーシーデポコーポレーション

代表取締役社長執行役員 **野島 隆久**

PCデポは、2023年10月、上場を廃止し非上場企業となりました。しかし、今後も上場企業と同様の体制を維持していきます。大きく変わったことは、これまで株主様や投資家の皆様に向けて企業情報を開示してきましたが、これからは会員の皆様と当社の取引先様が受け手としてより際立つようになったことです。昨年に続き2023年も「SMARTLIFE REPORT(ピーシーデポ統合報告書)」を発行し、会員の皆様と当社の「想い」や取り組みをお伝えしていきますので、思い出していただくと嬉しいです。

野島 隆久 PROFILE

1959年神奈川県相模原市生まれ。
1982年野島電気商会(現ノジマ)入社。1994年に独立し、ピーシーマーチャント(現ピーシーデポコーポレーション)を設立。
パソコンが一般家庭に、当たり前になる時代を見越して、PC専門店開始。当時、小売業最速の店頭公開(旧ジャスコ市場)を果たす。時代の変化に合わせてご家庭のデジタルを先読みした結果、現在は「全てのお宅にデジタル担当を」をMissionに全国に139拠点(2023年9月末現在、横浜KeyStation含む)を展開中。



PLANT図

速すぎるデジタル化に歩幅を合わせ くらしを止めない

世の中、好むと好まざるとに関わらずデジタル化はますます進んでいます。私たちの日常生活では、たくさんものがネット予約となり有人窓口がどんどん減っています。ある自治体では住民の医療機関受診を減らすためネットで利用できる健康対策を立ち上げました。ただ、利用者はわずか80名だと言います。どの事例も社会の課題解決や生活の便利さを目指してはいますが、果たして誰もが恩恵を享受できる本質的な解決策になっているのでしょうか？デジタル化推進計画に人々が合わせなければならなくなっていませんか。

AI対応なども象徴的で、ChatGPTの登場で、文部科学省は生成AIの学校での取り扱いについてガイドラインを出しました。しかしこれは暫定的なものです。いまデジタル化は進化の速度が速いため、こうすることが最適、こうするべきという1つ答え=最適解をだすことができません。世の中もそれに気づき、デジタルをどう取り入れ使っていけばいいのか調整することが必要だという認識が広がってきました。デジタルにおいては都度、最適ではなく、これからこうなるだろうからこうしておいたら良いという方向に少しずつ進むほうが良いと思っています。当社ではこの考えのもと、デジタルライフプランナー®(以下、DLP)がその都度、良いと思われる方向へと会員の皆様をつないでいく役割を



果たしていきたいと考えています。速度を落としてちょっとずつ提案を意識していきます。

デジタルライフプランナー®を職業として 確立します

最適解がないデジタル社会では、企業は商品を買って終わりという時代ではないと消費者も気づいているのではないのでしょうか？皆様のくらしに伴走する私たちDLPの役割、存在意義は明確になったと感じています。私は、デジタルでくらしを豊かにするDLPを生活者のための職業として確立させるために4万時間を使ってきました。「PCデポにはデジタルを相談できる人がいていいよ」ではなく「デジタルライフプランナーという職業があるよ」と皆様に言っていただくことが理想です。PCデポのスタッフではなく、その分野「職業」を認識していただきたいのです。そのためにいま、取り組んでいるのがDLPの資格制度化と全国のプランナーを支える会社の仕組みづくりです。

■職業としての確立:資格制度化

DLP資格は、知識を資格化するのではなく、仕事に直結した実践能力を持ち「私はデジタルライフプランナー」と名のることを許可する職業資格としていきます。こうした特徴を持つ資格は、IT分野では初めてではないのでしょうか。DLPには皆様に寄り添い伴走するため4つの資質が必要であり、資格試験では、この資質も

トップカンファレンス





CLUB HOUSE所沢



30期新卒入社式



問うていきます。

- ☑インクルーシブ プロフェッショナル: 高い視座を持って永続的に学び続ける
- ☑ダイバーシティ/多様性: 多様なプランナーがネットワークに参画し、新たな価値やアイデアを創造
- ☑オープンカルチャー: 文化や価値に触れやすい環境をつくる
- ☑人的資本ネットワーク: 関係人口のネットワークが拡大する場を創出する

既存の資格では、求められなかったものですが、DLPには、知っている知識を提供するだけでなく、会員の皆様の暮らしを理解し、デジタル社会に合う生活、教養、知識の特徴があります。だから「プロフェッショナル」「ダイバーシティ」「オープンカルチャー」や「人的資本ネットワーク」などを問うことが必要となるのです。また、DLP資格は、人としての資格を土台に構成します。「人の資格」とは、会員の皆様と長く付き合い、より良い生活を送れるかどうかを伴走して一緒に考えていくという意識で人と接することができるか、といった人間性です。こうした人間性を第一に、永続的に自らを担保する「稼ぐ力」を続ける意識も持ちながら、知識を持って皆様に伴走できるかを判断していきます。今回の資格は、職業意識や人間性といったエモーショナルな部分やパッション、マインドなどを確認しつつ、「テストスタンダード(テスト規準)」の指針^(※)に基づいた構成で職業資格としての制度を確立していきます。また資格化には、透

※テストスタンダードの指針: 日本テスト学会によって定められた、テストの開発・実施・利用・記録・評価などについての51の指針

明性や公平性が必要であるため、試験制度運用のための委員会を設置し、体制整備や試験の改定や発展を全国1,000名のプランナーと一緒に「職業づくり」してまいります。

■全国1,000名のプランナーを支える会社の仕組み

当社では、DLPの活動を支えるため拠点の整備を進めています。その一つの例が岩手県盛岡市に開校する「SMARTLIFE® AO校」(資格受講施設)です(P.31)。受講生が利用できるフリースペースを設け、学びの交流が生まれる場を用意するとともにDLPとの接点を持ちやすくします。今後、DLPは皆様のもとに足を運びサービスを提供できるよう体制を整えていきます。その拠点のモデルとなるのが「CLUB HOUSE」です。サザエさんでは三河屋(酒屋)から青年が御用聞きにいきますが、PCデポは「CLUB HOUSE」からDLPがサポートにうかがいます。すでに開設した埼玉県所沢市の第1号拠点を皮切りに、2023年中に3拠点、2026年頃には東北での設置も想定しています。地方に行くと地元スーパーが絶大な信用と支持を得ている光景がありますが、当社もローカルトップを目指し、既存の地域密着店舗を、各地に拡大していきます。

デジタルライフプランナー®は デジタル社会のインフラへ

各プランナーは、社会がデジタル化へ移行するなか、

皆様の暮らしが良いと思われる方向に進む「つなぎ役」です。皆様の暮らしが滞ってはなりません。ガスや電気を使ってお湯を沸かし、快適な生活を送るように、DLPによってデジタル社会をくらしやすい人とのつながりが豊かなものにしていただきたい、言わばインフラとして活用していただきたいのです。DLPは、会員の皆様同士をつなぎ役割を担っています。SNSで誰もかれもが繋がれる時代に、信頼できるネットワークは何か、同じ価値観で繋がれるコミュニティはどこにあるのかは非常にあいまいです。しかし共通のプランナーを通じて、会員の皆様同士が交流を深めていただくことで、一定の信頼・信用のあるつながりや関係性を拡大していくことができます。私たちは、これを「関係人口」と呼んでいます。現在、長野県では会員主体のコミュニティによる活動が盛んになっています(詳しくはP.35)。こうしたコミュニティの形成、関係人口の増幅が各地で実現されるように始めてまいります。

いまの時代、何が正しいかを知るより、誰と情報を共有し活用していくかが重要と思います。プランナーは、皆様から会費をいただき価値をご提供してまいります。あなたやご家族であるお子さんや親御さん、ご親戚、もっと言えば、ご近所さんやお仕事関係の方、趣味のお友達など、お近くに住んでいても、遠方であっても、皆様のくらしに貢献できるプランナーをご紹介します。そのために私たちは、職業として認知、普及していくようDLPの資格化を進め、この職業を広げてまいります。

多くの方々に、その必要性を認識していただき、デジタル社会におけるくらしの豊かさを実感できるようになっていただきたいと考えています。皆様のデジタル化した社会での豊かなくらしをともに創ってまいります。

ところで、少し話は変わりますが、DLPを今後もっと増やしていきたいと考えている私が、もう一方で注目しているのがeスポーツ選手です。eスポーツ^(※)には、プロライセンス制度があり、プロ選手がいます。彼らが持つ資質一勝つための戦略、強い意識、チームワークづくりなどは、社会課題の解決を目指すDLPの資質に通じるため、セカンドキャリアとして「社会の課題解決」を目標にセットすれば大きな可能性があると思っています。さらに言えば、さまざまなデジタル機器を駆使する選手たちのスキルはいろいろな可能性を秘めていて、その組み合わせによって、セカンドキャリアの可能性はさまざまに広がります。選手たちを単なるゲーム好きの青年、違う世界で生きる人間と考えてはいけません。彼らの力がいろいろなものと結合できる可能性を想像していたら、私の頭の中には、デジタルパイロット® 構想というものが浮かびました(詳しくはP.51)。また、このレポートでは、eスポーツが育む力について、現役高校生と私が座談したコンテンツも掲載しています(P.53)。私たち大人は、彼らを日本の未来を担う可能性のある人材として敬意を持って接する用意をすべきではないでしょうか。

参照元 一般社団法人日本eスポーツ連合公式サイト(jesu.or.jp)
※eスポーツ: 「エレクトロニック・スポーツ」の略。コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

Contents委員会



31期研修



会員の皆様同士が交流を深め
関係人口が拡大することを目指して

デジタルライフプランナー[®]が 伴走し、くらしを止めず、 可能性を将来に拡げてまいります



Media構想



Conference

デジタル生活の安全は足元と意識から

当社では2023年8月、デジタル生活を安全に送っていただくためのしおりを作成しました。(わが家の“デジタル担当”情報誌「SMARTLIFE JOURNAL 2023 Summer」掲載)、そして2024年10月からは、皆様に講習会なども開始する予定です。セキュリティ面など安全なデジタル環境でのくらしを考えたときに、皆様の協力で安全を担保できるのが現状です。PCやスマホのセキュリティの有無やウイルスによる他の方々への影響といったデジタルトラブルから会員の皆様を守るため、必要な基本事項をまずはご自身が理解し対応していただく必要があります。これまでは文字ベースでお伝えしていたものを参加必須の講習会として、すべての会員の皆様にデジタル生活の安全への理解を深めていただきたいと考えています。皆様とプランナーがお互いよい関係を長く続けるため、皆様を守るためのより積極的な場として安全講習を準備していきます。

非上場化 = 非公開企業ではありません

冒頭でお話したとおり当社は非上場化しましたが、経営体制やリスク管理など、これまで同様の体制で

臨んでいきます。決算発表については時期が四半期決算から半期決算に変わりはするものの、決算説明会を開催し、会員の皆様と取引先企業様に向け透明性のある開示をしていきます。非上場でありながら情報は上場企業並みを維持し会員の皆様、取引先企業様には安心してお取引いただけると思っています。また、情報公開の対象が皆様になったことで、社員はより緊張感を持って業務にあたることとなります。皆様と身近に接するプランナーの教育については一層力を入れてまいります。増員を図り、活動する拠点も整備していきます。こうした人材関連の投資は、当社ではコスト(経費)ではなく投資と考えます。DLPの成長・育成は会員の皆様のくらしの向上につながり、皆様が会員を継続していただくことで、教育研修を行い、積極的に投資することができます。今後、当社の会計処理方法を変更することで、この「人的資本の増強」の考え方をわかりやすく社内外にお示ししていきます。会計処理や開示の方法を再構築することで皆様には、「人的資本経営」という事実をより明確にお示しできると考えています。会社の透明性を提示し、PCデポへの信頼をより高めていただけるよう、準備を行っていきます。

物販から始まったPCデポは、物を売らずに保守サービスを提供する会社へと転換し、いま、デジタル化した社会での豊かなくらしを止めない「人の資格」の企業へ生まれ変わろうとしています。こうした事業転換が可能だったのは40万人にもなる会員の皆様が当社との

付き合いを継続していただいているおかげです。

私たちが過去手掛けた保守サービス事業は、ビジネス用語で言うと「川下(かわしも)ビジネス」と呼ばれます。モノを製造販売するのが「川上(かわかみ)ビジネス」、売られたモノに対するサービスを提供するのが「川下ビジネス」というわけです。では、PCデポの現状のビジネスは何でしょうか？私は「引き潮ビジネス」と呼んでいます。いまやデジタル製品やサービスは加速度的に進化し、まるで川から海に流れ込み、大海の彼方へと流れてしまったかのようです。潮が引いた浜辺では、デジタルなくらしの豊かさを手にする機会を失う生活者の方々が取り残されたかのようになっています。当社は、現在の急速なデジタル化による製品やサービスに追いつけなくなった方々に対し、プランナーと一緒に船に乗り込んで、それぞれのペースでデジタル化社会の海を追いかけていこうとしています。

一方で、子どもたちは成長するに従い、デジタルの波に乗って新たな可能性をどんどん広げています。当社がそのおそばにいることは喜びです。既存ではないデジタルとの付き合い方を見出した彼ら、彼女らが将来への可能性を楽しみにしています。

会員の皆様は、それぞれご自身のペースでデジタルな生活を取り入れ、豊かなくらしをお楽しみください。私たちが伴走しお手伝いしてまいります。



秋フェス



2023年度入社式

Appeal
on the radio
ラジオ展開

新たな接点による機会づくりへ～ラジオでの展開～



ラジオを用いて、会員ご家族皆さまに直に語るラジオ番組

「今さら?! デジタル」**放送中**

(2024年3月現在)

2023年1月1日より、InterFM897にて放送がスタートしたラジオ番組「今さら?! デジタル」。自他ともに認める“デジタル苦手”でもあるPCデポ社長の野島が、元南日本放送契約アナウンサーで二児の母親でもある大村絵美さんとともに、日常生活の中の何気ないデジタル化の話題や、デジタルのお悩み、日々の暮らしが豊かになり家族の団樂が楽しくなるデジタルの可能性などについて、PCデポのデジタル担当に寄せられた実生活のさまざまなエピソードを交えつつ、「今さら?!」だけど、「焦らず・無理せず・ゆっくりとやっていくデジタル」をコンセプトにお伝えしています。

番組概要

デジタル化を不便に感じたり、何がどうなっているかわからなくなったり。そんなデジタル社会にお疲れのあなたにお届けするこの番組。自身もデジタル苦手なPCデポ社長兼(自称)今さらデジタル連盟会長の野島と、大村絵美アナウンサーが、実際にプランナーに寄せられたデジタルのお悩みに「今さら」だけれども、「やってみる?」という挑戦する気持ちを後押しします。

担当プランナーより一言

プランナーとして活動しながらinterfmラジオ担当としても活動しています。ラジオで扱っているすべての内容は、いつも担当しているご家族皆さまや、番組関係者、プランナーである私が実際に体験・実感したことに基づき、感じたことをメンバーの皆さまへ直にお届けしています。デジタルと聞くと少し無機質な印象を持ちますが、この番組の活動を通して改めて、デジタルは家族の繋がりがや暮らしに彩りを添えてくれるものだと実感しています。

interfm担当 デジタルライフプランナー

鶴崎 あず実



その他のラジオ発信

Fm yokohamaでは、人気DJ『栗原治久』とマンスリーゲストがデジアナトーク(デジタル・アナログトーク)を展開していきます! デジタルのある暮らしをされているマンスリーゲストの方々に「プランナー」のいるライフスタイルをご紹介します。

番組タイトル PRIMETIME
『人と人にデジタルを』
放送開始 2023年10月2日
放送日時 毎週月曜日21:36～21:46
(10分間プログラム)



Fm yokohama 84.7

オンエア中、野島社長が語った気になる一言

オンエア中…会員様はじめ、リスナーの方から素朴な疑問や考えさせられる相談に対してのアドバイスや雑談の中に、野島社長の名言ならぬ、課題を紐解くさまざまなヒントが見えてきます。

車は話し相手。歌も電話も「HeySiri!」でいけます。いまさらですがきっと**皆さん使えます**。(第3回)

スマホの「ピッ!」はがま口を開けない財布だと思って、いまさらながら一歩ずつ。(第4回)

小さいうちからデジタルに触れることに極端に制限をかけずに、リビングに1台おいて親御さんが安心できる環境が良いのでは。(第6回)

アトラクションや映画館等が電子チケットなどで電子化していますが、**デジタルでないものも楽しみながらたまにはデジタルに挑戦**、相談してください。(第11回)

ネットショッピングは生活に必要。**担当者に相談のうえ慎重に**。(第13回)

社会の流れで窓口は減っていきます。気が付いたときに**アプリケーションがあるんだと頭においておきましょう**。(第16回)

時刻表などはデジタルで写真を撮りながら、**紙は紙で冷蔵庫などに貼っておく**と良いでしょう。(第19回)

買い物に行くにも「物価の値上げに挑戦」とゲーム的な感覚で楽しんで買い物を。(第20回)

健康に対して気を使っていると思います。**長く良いもの(AppleWatch)を健康のために身につけましょう**。(第21回)

パスワードは画面をとっておく、もしくは書いてとっておきましょう。その際に一部黒くしておくなどお願いします。(第22回)

大切な周りの方、**安全に安心にするには皆さんの安心確保の意識がすべてです**。(第25回)



ピーシーデポスマートライフ店のある地域をカバーする
全国16局にて毎週オンエア中!

interfm(首都圏)/FM青森/FM岩手/ふくしまFM/FM栃木/
FM新潟/FM長野/K-MIX(静岡)/FM愛知/FM大阪/
FM岡山/FM香川/FM高知/FM佐賀/FM長崎/FM鹿児島
※放送日時は、放送局のタイムテーブルによって異なります。
詳細は、各放送局のHPをご覧ください。

放送を聞き逃してしまった方や、過去の放送を再度試聴したい方は、AuDeeやradikoなどのアプリから!

中長期での戦略と強み

LTV(Life Time Value)を軸にして、関係人口を増幅し、地域におけるデジタルライフプランナー®という職業普及を行っていきます。

この拡大により、今後の市場機会をとらえ、NCS (New Customer Success) 会員の売上向上につなげます。

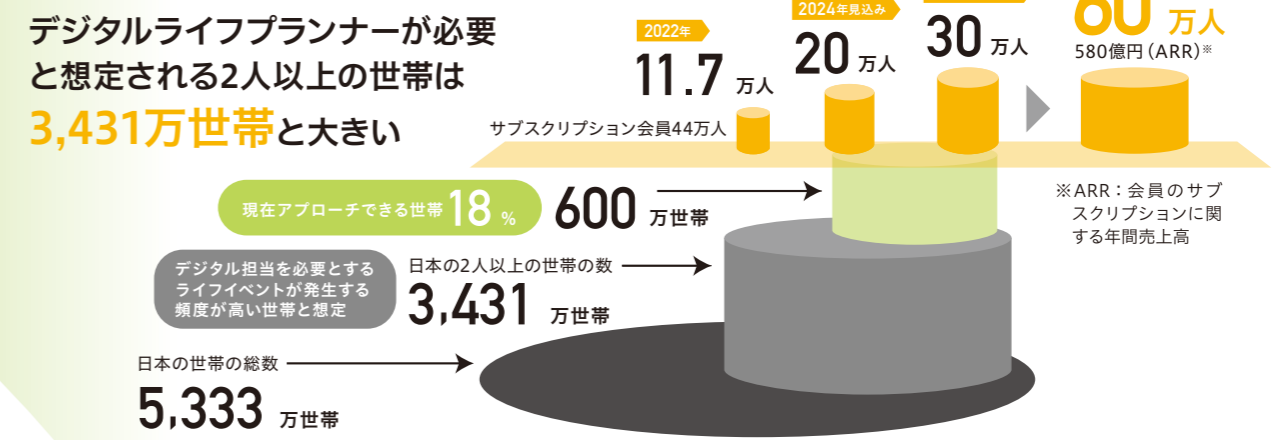
【メンバーシップ制/サブスクリプション型/循環型】



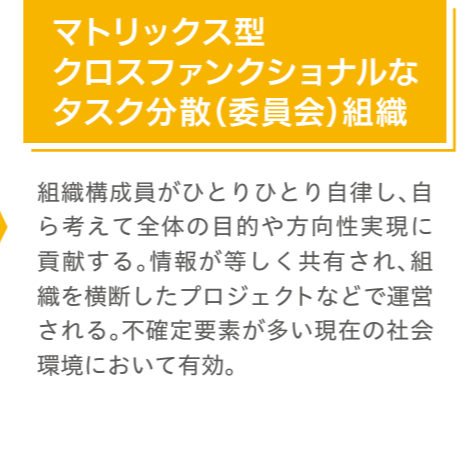
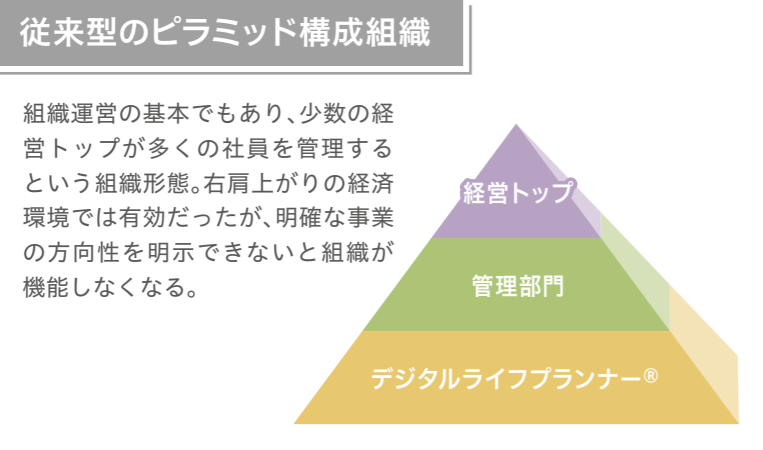
Strategy (戦略)

- 1. 関係人口の拡大 (FAS: Familiar Surface)**
会員家族 貴方 会社 取引先 地域社会の皆様と目的を一体化し、デジタルを用いて、関係人口を増幅します。
- 2. デジタルライフプランナー®の職業普及**
職業資格として「デジタルライフプランナー資格」制度を開始。検定試験を実施しながら地域のデジタルライフプランナー普及に努めます。
- 3. 人的資本への加速、積極的な投資**
新卒採用、経営権者採用の強化。デジタルライフプランナーのスキルアップ
- 4. 新型店舗の開発と実践**
店舗にSMARTLIFE AO校を併設、会員様が集まり、何かを始める場に変化。CLUB HOUSEの増設による会員接点の拠点を増加。
- 5. 幅広い業務提携による共同事業展開**
多様な業種のパートナー様と共同し、デジタルを用いて、関係人口を増幅します。

今後の市場機会



戦略の実現のためには、従来型のピラミッド型組織構造ではなく、クロスファンクショナルにタスクを分散し、現場で判断をしながら事業を行っていく、マトリックス型の組織体制で行っていきます。



新職業資格開始!

デジタルライフプランナー®資格制度

会員の方々にとって有効な関係人口を拡大していくうえで、デジタルライフプランナーとの接点が増え、信用して任せられるDLPが増える必要があります。この実現に向けて、デジタルライフプランナーを職業資格として資格化し、さまざまな職種経験者、若者、そしてデジタルが得意な方々がDLPとして活躍できることを保証していきます。

職業観

AI時代の新しい職業観と デジタルライフプランナー®登場

- ▶ ChatGPTをはじめとする生成AIの登場により、未来観そして職業観は大きく変わりました。



新しい職業観

- ▶ 持続的な学び: AIや他の技術が進化するなかで、新しいスキルや知識を継続的に学ぶこと
- ▶ 柔軟性: 一つの職種やスキルに固定されず、変化する市場ニーズに対応できる柔軟性
- ▶ 人にしかできない職業: AIが得意とする分析や計算といったタスクとは異なり、人間関係やコミュニケーション、クリエイティブな思考などの「ヒューマンスキル」

デジタルデバイドの解消と新職業

- ▶ アクセスの平等化: すべての人々が情報技術へのアクセスを持つことが重要。インターネット接続の普及や安価なデバイスの提供などインフラに止まらない、デジタル苦手の人に寄り添う職業が必要
- ▶ 新しいデジタル教育: テクノロジーの使い方(マニュアル)や原理(アカデミック)ではなく、デジタルを活用してどのように人々の生活を豊かにするかが重要。デジタル化した社会+すべての生活への広がりを創る職業が必要
- ▶ 地域差の解消: 都市部と地方部のデジタル格差を解消することが重要。地方にインフラを入れる、アプリを入れるのではなく、地方部の人々に寄り添う職業が必要

SMARTLIFE® AO校(資格受講施設)で広がる学び

- ▶ デジタルライフプランナー資格は、すべての基盤
- ▶ SMARTLIFE AO校は、学びを広げる場として開かれている
- ▶ 自分の学び→家族の学び→価値の共創→地域の共創に広がる拠点



世界初「生活者のための」IT系資格

世界
唯一[※]

- これまではITの「提供者」を認定するための資格でしたが、これは生活者のための資格です。
- その知識を身につけ行動できる資格です。
- 暮らしに寄り添い、会員様が家族団欒の豊かな生活を送るためにご家族のデジタル担当をする職業人です。
- 会員様家族専属で、デジタル化した暮らしのすべてに寄り添い並走する、職業人を認定する資格です。

※2024年1月現在

デジタルライフプランナー®資格について

デジタルライフプランナー=生活者を支える=コトを支える資格

生活者のデジタル化した暮らしを向上

デジタルデバイド

DLP: デジタルライフプランナー資格は、日本国内のIT資格のなかで初めて、生活者を支える人材、デジタルデバイドを打ち破り、生活を豊かにするための人材スキルを証明する資格制度となります。

● 「職業人」として「心構え」「教養」が不可欠

- 職業人としての心構え、誰のために、何のために働くかをしっかり評価
- 取材を通じて、DLPの仕事、そして会員様家族を知る

● テストスタンダードに基づく、堅牢な資格制度

- 初めての資格に必要な知識スキル分野が体系化
- 5分野55分類の知識スキル

● 資格を一緒に作っていきける

- 商品開発/編集会議にも参加可能



学習の流れ



学び(各課程)の概要

志望申請:

なぜ、何のために、誰のためにこの資格取得を目指すのか、資格取得後の自身のビジョンをアウトプットすることを通し、その志望動機をおうかがいします。

オリエンテーション:

永続的に地域社会に必要な存在であるために学び続ける必要性と、地域社会に貢献する面白さを調査・アウトプットを通し実感して、ディスカッションを経て視野を広げます。

取材・記事制作:

“デジタルライフプランナーがいる暮らし”をされている会員のご家族様に取材をさせていただき、記事制作を通して、この職業の地域性と必要性、永続性を実体感することを目的にしています。

オンライン講習:

オンラインまたはアドミッションオフィスで検定試験前の講習を通し、試験の予習、より実践的なデジタルライフプランナーの活動について自ら学びます。

検定試験:

職業人としての基盤となる教養やマナー、コミュニケーションのプロセスやデジタルライフのプランニング力まで、5分野55分類の知識スキルを幅広く網羅した試験で検定合格を目指します。

DLP実地実習:

実習講師のプランナーとともに、実際にデジタルライフプランナーとして活動する、より実践的な実習です。資格取得後の自身の姿がより確かなものになることを目的としています。

小論文制作:

デジタルライフプランナーがいる暮らし、その永続性を自ら担保し、自身のこれまでの学びの習慣、客観的な視点も交えた小論文記事を仕上げ、これからの展望を実感することを目指しています。

検定試験とは

テストスタンダードに基づく検定試験

5分野55分類の知識スキルを幅広く網羅し、デジタルライフプランナーのキャリアを拓きます。

27分類	デジタル利用 スマートフォン・PC・デジタルガジェット・デジタルライフ	主要なデジタル基盤・デジタル化しやすさ(デジタルライフ)における、具体的なITサポート力を評価。
10分類	生活 デジタル資産と教養・デジタルシティズンシップ	DLPの会員様の理解を深め、会員様のタイプごとに適切な支援力を評価。
12分類	DLPスキル 傾聴 → 描画 → 提案 → 記録 → 計画	会員様とのコミュニケーションプロセスを分解し、DLPとして必要な業務スキルを整理。DLPの実行能力を評価。
6分類	接遇・マナー DLPの職業観・コンプライアンス	職業人としてのDLPの基盤となる知識と評価。マナーや接遇の実行力は、試験で知識を確認し、研修や実地で行動面を担保する。
	資質 影響力・人間関係構築・実行力/行動力・計画性/分析力	活躍するDLPの資質を分析し、資質を整理 → DLPの心構えや指針として整理

検定試験は、全人格的な成長を目指す人を認定する資格認定Chapterの一つとして実施します。

60分50問程度 AO校で受験するCBT(Computer Based Test)で実施されます。実証実験と統計分析を経て検証された5分野55分類の問題が、バランスよくランダムに出題されます。

知識・スキル + コンピテンシー(行動)

知識やスキルを身につけた上で、どのように行動するかについてを重視した問題群です。
 ・選択肢問題: 4つの選択肢から、最も適切なものを選ぶ問題
 ・ケース問題: DLPが仕事で直面する場面をストーリー化したケースから出題される選択肢問題

年次レベルで更新・学び続ける

デジタル社会の変化に応じて、実現できる豊かな生活も多岐にわたり、変化を遂げています。求められる知識やスキルの変化に応じて、継続的に学ぶ人のために知識スキル体系は毎年更新されていきます。テストも順次改訂されていきます。

資格制度の構築



試験の構築に当たっては、国際的に標準と認められる科学的アプローチを採用しています。業務分析を通じ、実際の業務とタスクを理解し、それらの業務で高いパフォーマンスを達成する人材のコンピテンシーを分析、その結果に基づき知識スキル体系を整備します。問題の構築、2回の予備テストを経た統計分析結果から合否基準を策定し、資格制度を構築しています。

実証実験 (のべ1,000名以上参加)

知識スキル体系の整備

実証実験含め4万時間を超える
社員参加の構築



DLP資格の取得には、個人事業主としてライセンス、学生のリクルート、会員様としてのインターン・親子で学ぶ親子受講の4つの取得コースがあります。

ライセンス志望コース

リクルート志望コース

インターン志望コース

親子受講コース



プライムフォース株式会社
代表取締役 澤田 哲理氏

澤田哲理氏からのコメント

デジタル苦手の多い日本の社会に必要な職業資格です。

今までのIT系の資格は、すべてIT開発者やITの提供者のための資格でした。デジタルライフプランナー資格は、おそらく日本で初めて生活者のデジタルライフを支援する、「人」のための資格です。

資格を取得することで、家族や地域に貢献したり、他のビジネスと組み合わせさらに事業を拡げたりして、人としての成長が望めるでしょう。日本初のデジタルを使う生活者のための資格であり、必ず皆様にとって価値あるものとなります。

「ライセンス取得」を目指される方に向けて…
現在活躍しているデジタルライフプランナー®からのアドバイス



VOICES

講師のアドバイス通りに
まずはやってみることが大切です。

私の前職は旅行会社でした。DLPになった当初はデジタルについて詳しくありませんでしたが、担当する顧客の背景を予測する経験やスキルが役立っています。AIや自動化が進むなか、旅行会社でも店舗やコンシェルジュは減少しましたが、私は人と人をつなげる窓口の必要性を感じています。なぜ旅行に行きたいのか、どんな思いを持っているのかを考えるのは人の役割であり、DLPの職業がその役割を果たせると思います。

茨城県在住
デジタルライフプランナー
川井 えみりさん



合格しようという信念と、その思いを
維持するモチベーションが必要

DLPは、ゴールのない職業だと考えています。くらはデジタル化により、どんどん変わり、時代の変化のなか、常に学び続ける必要があります。私は多くの方と関わり、担当するご家族のくらしを豊かにするために、日常生活のなかの些細な出来事、新聞記事や会員様の関心事を掘り下げるため、アンテナを張るようにしています。

DLPは、お客様のくらしに寄り添える素敵な職業です。ぜひ、私と一緒にたくさんの人のくらしを豊かにしていきましょう！

埼玉県在住
デジタルライフプランナー
村上 友基さん



企業に勤める、独立する…
しっかりとしたビジョンが大切です。

DLPは、未来の地域社会において重要な役割を果たす新しい職業です。DLPを目指す上で大切なことはたくさんありますが、自分の強みを理解し、学歴や年齢、性別にとらわれずにチャレンジすることで経験や知識、興味を活かして活躍できます。

自分自身のDLPのビジョンを描き、志を高く持ちながら志望申請や相談を通じて新たな可能性を見つけましょう。講師やDLPが伴走します。

千葉県在住
デジタルライフプランナー
守田 ゆきさん



年齢に関係なく、人のために活かせる
職業資格です。

『デジタル担当がいるくらし』が広まれば、どれだけ安心なことでしょ。今後は急速に加速するデジタル社会で生きていく上で、家族のために、大切な人のために、自分が役に立つ新しい職業だと実感しています。「人生、いつもチャレンジ！」だと思っています。思い立ったときがスタートできる瞬間ですから、年齢も関係ありません。自分の生きていく力を身につけて人のために活かせる職業資格です！いざ！チャレンジお待ちしております。

神奈川県在住
デジタルライフプランナー
大久保 勝幸さん



SMARTLIFE®
AO校

受講者の自立自走の環境と体制

学ぶ意欲を育む学校

「SMARTLIFE® AO校」を開校

SMARTLIFE AO校は、有資格者（講師）と資格受講者が、「デジタルライフプランナー®資格」の資格習得、地域に必要な知識や心得など「人の資格」を学ぶ、実習空間です。

SMARTLIFE® AO校イメージ



SMARTLIFE AO校は、学びのために開かれた空間であり、デジタルライフプランナー資格認定の各Chapterを実施する施設や仕組みを備えています。



※画像はイメージです

実習空間 受講生が必要なときに使えるオープン空間。自習・予習に使えます。



※画像はイメージです

講師室 小さな疑問や質問を、仲間と一緒にディスカッション。

それぞれの思いに合わせ、多様な受講者が学ぶ空間です

SMARTLIFE AO校は、多様な経歴を持つ資格者たちと共に、ダイバーシティが尊重された学びの場を提供しています。



女性
転職・リスキリング
主婦・シングルマザー

就職
転職・リスキリング
新卒・インターン

親子受講
男女12歳～
親子・親戚

資格
在職・リスキリング
(シニア)スキル・アサイン

SMARTLIFE® AO

校で取得できる「デジタルライフプランナー®資格」

学ぶだけでなく、実習と実践を通じてスキルを身につけられる環境を一緒につくっていきましょう。



POINT 01 世界でも
希少な資格

「生活者のための」、人の資格

国際的な規格に基づいて構築された検定試験などを通じて、これからの地域社会に必要な新しい職業能力を習得できるデジタルライフプランナー資格は、世界で初めての「デジタル社会で生活者のための資格」です。



POINT 02 職業として
名乗れる資格

「デジタルライフプランナーです」

この資格を取得すると「私の職業はデジタルライフプランナーです」と名乗ることができます。AI・Robot時代にて学びを絶やさず価値を創り続けることで、地域社会のなかで長く活躍することができます。



POINT 03 講師助手で
学べる

助手として実習・実践

デジタルライフプランナー資格取得までのプロセスは、研修参加や業務の体験にとどまりません。講師であるプランナーの助手として、実際にお客様の暮らしを豊かにする活動を生で実習、実践します。



POINT 04 資格創りに
参画

自ら創り続ける職業

デジタル社会の変化と同様、検定試験は毎年更新され、学ぶべきことも変化し続けます。年齢や立場など関係なく、有資格者はこの資格創りや関連する補助資格創りに参画できます。



POINT 05 親と子
祖父母と孫

お子さん、お孫さんと一緒に勉強

この資格は16歳以下でもご両親、祖父母の方と一緒に勉強、受講することができます。この新しい職業にご家族で挑戦し、お子さん、お孫さんとさまざまな可能性を広げませんか？



POINT 06 手に
職・術・技を

地域に必要なスキルがいっぱい

身につけられるのは、変化の激しいデジタル社会・地域社会のなかで、暮らしを豊かにし続ける「生活のインフラ」とも言える術と技です。自身のバックグラウンドを活かしながら、長きにわたって個性を活かせる職業です。



POINT 07 学び続ける
資格

生き抜く力を探求する職業

デジタルライフプランナー資格はご家族の暮らしに寄り添い、学び続けることで成長する、発展性、拡張性のある資格であり職業です。未来を予測し、予測不可能な未来でも生き抜く力を探求できます。



POINT 08 12歳から
70歳が同期生

ダイバーシティな人々が活躍

12歳からデジタルライフプランナーの勉強が正式に開始できます。年齢や性別に関係なく、ご家庭で、学校で、さまざまなコミュニティで、AI・Robot時代にデジタルを用いて暮らしを豊かにするために学び、行動できます。



SMARTLIFE®
AO校

全国に「SMARTLIFE® AO校」を開校予定

デジタルライフプランナー資格認定志望者は、地域やAO校毎の特徴、デジタルライフプランナー講師により、学ぶ拠点とするAO校を選ぶことができます。AO校は、2026年中に20都府県に順次設置予定です。

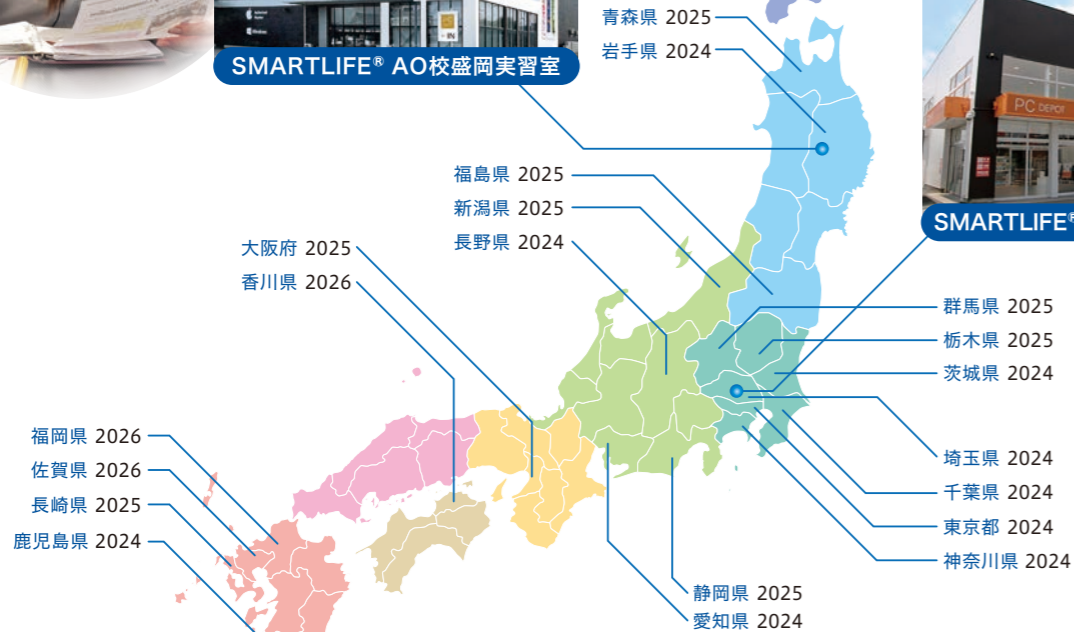
SMARTLIFE® AO校イメージ



SMARTLIFE® AO校盛岡実習室



SMARTLIFE® AO校越谷店実習室



2026年中に全国20都府県
に設置予定



CLUB
HOUSE

サブスク型新業態「CLUB HOUSE」、 「CLUB LOUNGE」の展開

2023年4月にデジタル関連商品を展示する会員向け施設「所沢 CLUB HOUSE」が移転オープンし、同年8月に「川越 CLUB LOUNGE」が新規オープンしました。オープンした店舗の責任者にそれぞれ話をうかがいました。

所沢 CLUB HOUSE

デジタル関連商品の展示及び会員向けサブスクサービスを提供する施設です。一般の方のご来店を歓迎しています。

所沢 CLUB HOUSE STAFF'S VOICE



デジタルライフプランナー
責任者 西村 大
所沢 CLUB HOUSE

デジタル化した社会のライフプランナーとして、故障やトラブル時にも対応し、「くらしの伴走者」としてお手伝いしています。デジタルに苦手意識を持つお客様に対して、わかりやすく説明しながら使い方をサポートしています。



川越 CLUB LOUNGE

会員様のために提供される施設で、地域に密着したリテール施設として運営されています。

川越 CLUB LOUNGE STAFF'S VOICE



デジタルライフプランナー
責任者 山口 喬弘
川越 CLUB LOUNGE

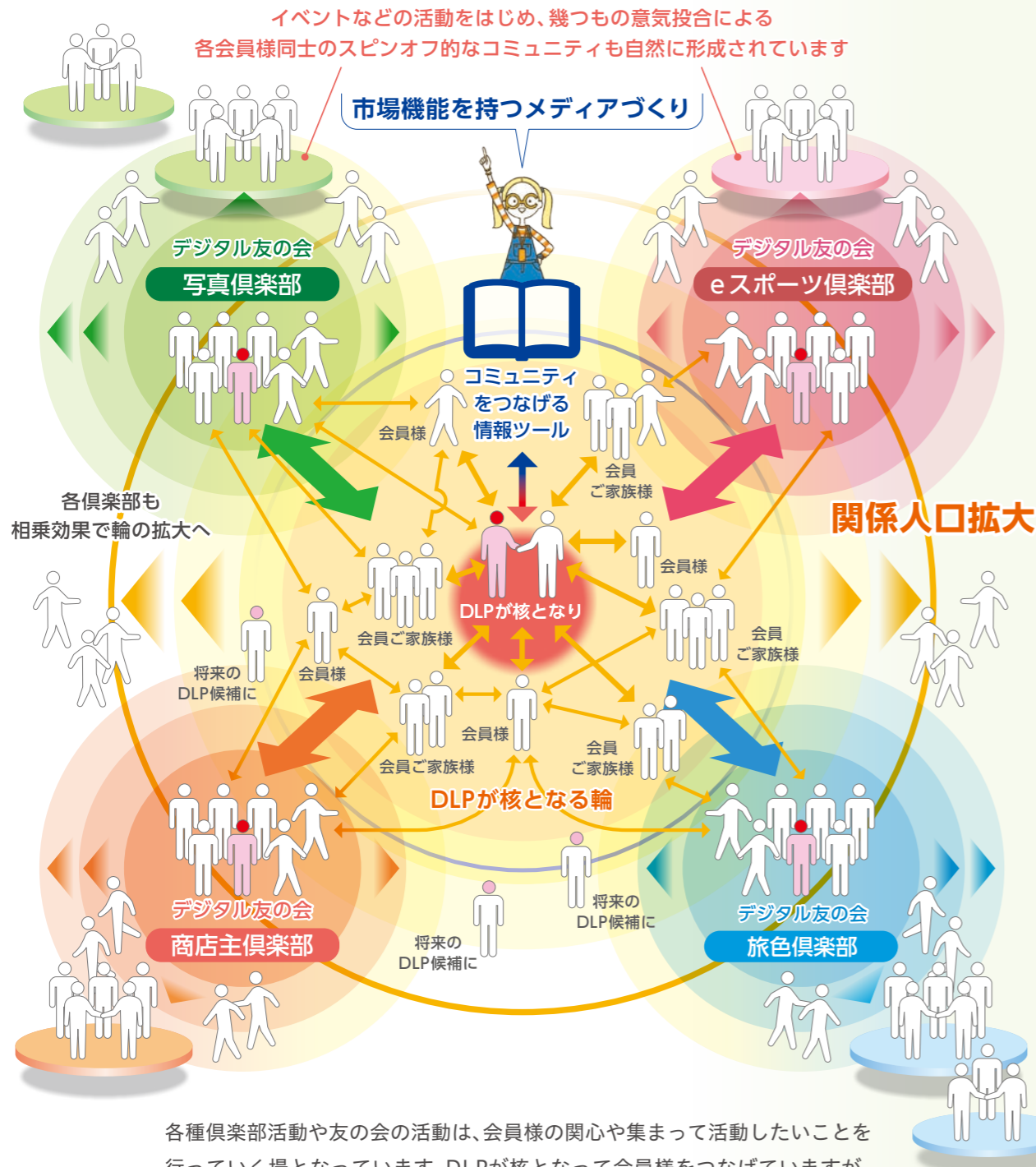
これまでのパソコン、スマホの使い方やトラブル解決は勿論、デジタルを通してご家族様の健康維持をお手伝いしたり、ワクワクするような旅行の計画の相談も含めて私たちが担当します。川越市以外でも、遠くから通ってくださる会員様もいらっしゃいます。



多彩な人々・世代が積極的に参画する
長野県北信エリアでの地域連携事業長野モデルの
展開

つながる広がるコミュニティの輪

会員様と接し、関係人口を拡大していくことがデジタルライフプランナー(DLP)の日々の活動です。店舗をメディア化、さまざまな印刷媒体を発行して思いを伝えること、友の会活動など、DLPが中心にいるコミュニティを拡げていきます。



各種倶楽部活動や友の会の活動は、会員様の関心や集まって活動したいことを行って行く場となっています。DLPが核となって会員様をつなげていますが、会員様が主体となった活動も広がってきています。

対談企画

長野モデルにおけるコミュニティ展開

長野ではデジタルライフプランナー®が
メンバー様の豊かな暮らし実現や関係人口の拡大を
情報誌とコミュニティを通して行っています

長野県北信エリアでは、デジタルライフプランナーが核となり、情報誌やメンバー様が集まることができる店舗を活用したコミュニティづくりが進んでいます。長野モデルと呼ぶこの形を、PCデポが目指す「デジタルを通して暮らしを豊かに」を実現する一つのロールモデルと位置づけています。スマートライフ長野店、通称長野ベースのデジタルライフプランナーたちが取り組む活動を座談会形式で紹介いたします。

コミュニティを活用して
暮らしを豊かに

司会 最初に長野モデルの全体像を教えていただけますか？

齋藤 まずお伝えしたいのですが、私たちはモデルを作ろうとしたわけではなく、メンバー様に豊かな暮らしをご提供するという目的のもとに集まったデジタルライフプランナー(以下、DLP)が活動している、人中心の取り組みが結果的に一つの形となったものです。DLPは、日々、メンバー様と接することで何をご提供できればデジタルを通じた暮らしが豊かになるかを理解しています。しかし、ひとりではすることには限界があります。そこでコミュニティをつくり、皆様に参加して楽しんでいただく、より豊かな暮らし実現ができればと考え、サークル活動が生まれました。現在、5つの倶楽部が活動しています。

司会 長野ベースは、サークル活動の拠点になってい

ますね。

齋藤 ここはもともと店舗、つまり売り場でしたが、コミュニティが集える、メンバー様が気軽に集まれる場所という位置づけに変更し、リノベーションを重ねています。従来の店舗からのイメージチェンジが必要でしたので、客席を増やしたり、制服を廃止したりして、メンバー様が滞在しやすい空間になるよう今もリノベーションを続けています。

DLPが地域の
デジタル情報を発信

司会 サークル活動は情報誌「メンバーズ」に掲載されていますが、そもそもこれはどのような媒体なのでしょうか？

齋藤 長野でメンバー様のためのコミュニティを作りたいという構想ができた段階で、野島社長からは、「メディアを持たなければそれは実現できない」と言





株式会社ピーシーデポ
コーポレーション
取締役専務執行役員
ストア事業統括本部長
ストア事業統括
ストア構造再構築担当

齋藤 秀樹

われました。メンバー様と双方向でコミュニケーションを可能とし、DLPからの情報やメンバー様の情報を定期的に伝えることを可能とするメディアがコミュニティの実現には欠かせないということです。そこで長野をベースに38年にわたりフリーペーパー『月刊ほっとパル』を発行する株式会社アスクさんにご協力をお願いし、山本さんに編集長になっていただき、地域密着の発信を行っていくことになりました。

山本 誌面は、各倶楽部のイベント告知や参加者の声を掲載しているほか、長野県のデジタル最新事情やメンバー様のデジタルライフ体験記、メンバー様のお店紹介などで構成しています。毎号、どのようなコンテンツにするのかはDLPの皆さんが企画します。私たちは、取材、原稿、レイアウトなど伝える部分の役割を担当しています。企画の良さがメンバー様に伝わっているようで、積極的に協力していただけます。

齋藤 「メンバーズ」は、長野ベースのDLPたちが発行者になっています。長野では、何においてもプラン

ナーを前面に出して活動することを徹底しているのですが、山本さんは、それを理解してDLPを取材にも同行させてくれています。長野モデルは、DLPを核として、地域に密着した発信力を持ったことが一番のポイントになっていると思っています。

山本 地域密着の発信力と言えば、先日取材したあるメンバー様の話が興味深かったです。「メンバーズ」に市立中学校のデジタル教育についての記事があり、自分の母校だったから目に留まったそうです。しかも記事を読んで、そのデジタル化について知識を深めようと思ったとおっしゃっており、しっかり自分ごと化していました。地域に根差した形で情報を出すという効果がありますよね。

齋藤 「メンバーズ」は、「めちゃくちゃ刺さる」と創刊時からメンバーの皆様に言っていただいているんですよ。

山本 本当ですか。それはうれしいですね。

齋藤 地域に長年携わり、編集や校閲による情報の「信頼性」を担保されてきた山本さんやアスクさんが「メンバーズ」の編集に関ってくださるからこそ、私たちの意図が伝わる媒体になっていると思っています。拠点では、掲載コンテンツをパネルにして展示し、特設コーナーを設けて、メディアと店舗を相互にリンクさせています。地域メディアと連携してこのような情報誌を出すというモデルができたので、盛岡(岩手)、富里(千葉)、辻堂(神奈川)、鹿児島など長野以外の地域でも同様に展開し、コミュニティづくりに力を入れていきます。

倶楽部も「メンバーズ」も、 メンバー様のくらしを豊かにする武器

司会 サークル(倶楽部)活動についてもお聞きしたいのですが、どのように発足し、活動しているのですか？

齋藤 メンバー様の今後のくらしを理解しているDLPたちが、どのようなジャンルの倶楽部にするとよいかディスカッションし、テーマが決まっていきます。倶楽部ごとに担当のDLPがいて、倶楽部全体の事務局は岡澤が担当しています。発足後、メンバー様と一緒に倶楽部を運営し、DLPはご相談に乗るなどサポート役となります。DLPが向き合うのはメンバー様のさまざまなくらしの豊かな実現なので、それに寄与するかたちで倶楽部の運営やメディアの企画を行うよう伝えており、ひとり2役も3役も担っている形です。

司会 もともとPCの修理や困りごと相談などでお客様やメンバー様が来店されることが多かったなか、メンバー様との向き合い方から倶楽部運営まで、DLPの皆さんの変化は大変なのでは？

岡澤 以前は、お客様の“困った”を解決することが仕事でしたが、いまは違いますので、その意識を変えることが大変でした。こうした取り組みがメンバー様のくらしを豊かにし、自分をも豊かにすると理解できてからは、意識がきっちり変わり、それほど苦勞とは感じません。



ピーシーデポ
スマートライフ長野店
デジタルライフプランナー
岡澤 哲也

柳澤 メンバー様のくらしをどう豊かにするかを実現できる手法が増えたということです。僕たちにとっては武器が増えたようなもので、メンバー様にとっても増えれば増えただけプラスになるのだと思います。

山本 倶楽部を取材して、それは感じました。大学生

くらいの男性が複数の倶楽部に参加していたのですが、お会いするたびに表情が豊かになられていて、「今度は、これに挑戦しようと思って」と積極的に楽しまれているのがわかりました。こうした変化を目の当たりにすると、良いコミュニティなんだと実感します。

齋藤 DLPが介在しなくても、メンバー様同士がつながってコミュニティを形成され始めている話もあります。

司会 それはまたすごい動きですね。

柳澤 実は、サークル活動を始める時点から、そこまでの関係性を築いていただけけるのでは、という期待はありました。



ピーシーデポ
スマートライフ長野店
デジタルライフプランナー
柳澤 司

齋藤 コミュニティができれば、さらに新たな強い関係性は生まれます。メンバー様とDLPの1対1だけではコミュニティは生まれませんが、メンバー様が倶楽部や友の会に参画することでメンバー様同士のコミュニティができ、豊かなくらしの実現につながります。DLPは、メンバー様が参加をすることでくらしが豊かになるコミュニティと出会えるお手伝いをするのが大切となります。

デジタルが不得手なメンバー様が、 プランナーに転身

司会 これまでの話をお聞きしていると、DLPIには



長野市内と近郊に
配布する『ほっとパル』発行
株式会社アスク
取締役社長
山本 恵美子さん

あなたの“デジタル担当”情報誌

ながの「メンバーズ」季刊発行

地域における
デジタルの
動向



毎回楽しい
各倶楽部の
活動を報告

自ら考え行動していくことが求められていますね。

齋藤 ひとりひとりが自立したプランナーで、その集合体が長野ベースのDLPです。会社員というより個人事業主のようなポジションですね。会社としては、個人が動きやすい環境を整え、個々が努力してきた積み重ねで、いまがあります。ですから長野のDLPは、会社に頼るという意識でDLPの活動をしていないと思います。そもそも上から指示を出すことはないです。

司会 そうでしたか。大林さんや小林さんは、中途入社で社歴も浅いですが、DLPとしての活動はいかがですか？

大林 最初は、いままでと違い過ぎて困りました。はて？という感じです(笑)。ですがDLPの皆さん、どなたにも相談できますし、アドバイスをいただけます。最初は大変でしたが、決まりやしぼりがなく行動できるので、楽しく活動しています。

小林 私も最初は、びっくりしました。前職では、指示されたことをやるのが当たり前でしたので。以前は、自分のことがあまり好きではなかったのですが、枠がないDLPの活動をしてみて、こういう自分も良いな、と思うようになりました。



ピーシーデポ
スマートライフ長野店
デジタルライフプランナー
小林 千晃

塩崎 僕たちは、いちプランナーとしてお互いに関わりあっていますよね。

柳澤 ポジションの上下関係がないね。メンバー様の暮らしをどうしたらいいかをプランナー同士で意見交換するという感じかな。

塩崎 年齢の上下はもちろんありますが、むしろ良い影響になっています。自分にはない視点の話が聞けて、成長につながるなあ最近特に感じています。

小林 皆さん、メンバー様のためにという共通の思いがあって、それぞれでいろいろなことを考えているので、人対人として話ができていくのかもしれないね。

山本 取材をしていると、DLPの皆さんがメンバー様と人として向き合われているのがよくわかります。メンバー様が、プランナーさんのために何かできないかと考えて、いくら払ってもいいくらい一生懸命にやってくれた、とおっしゃるほどです。表面的ではない、まるで親戚のような身近な存在になっているんです。



塩崎 メンバー様が、機械や初対面の人には相談できないことを僕に相談してくださるとすごくうれいすね。この人になら、と思っていただけなのに、と感じます。



ピーシーデポ
スマートライフ長野店
デジタルライフプランナー
塩崎 快彦

齋藤 DLPはみな一生懸命ですから、家族の一員のように思っただけなのだと思います。個人事業主のようなポジションで活動していると話しましたが、これを実践するのは非常に大変なことなんです。会社にぶら下がり、自分の足で立ってメンバー様に向き合っているからこそ、応援していただけるのだと思います。大林さんは、入社して数か月ですが、メンバー様からご紹介いただいた10名以上の方が新たなメンバー様になってくださいました。

司会 それはすごい。そういえば大林さんは、この店

舗をメンバー様として利用されていたとお聞きしました。それがなぜ、DLPになられたのでしょうか？

大林 実は、いまもメンバーなんです(笑)。パソコンの不具合を相談していた側でしたが、ある時DLPへのお誘いを受け、「不得意だからこそできない方の気持ちがわかりますよね」と言われたことが心に刺さりました。くらしを豊かにする、という考え方にすごく共感して。子育て中の同年代には、教育のデジタル化に不安を抱えている人たちもいます。私が勉強しますから一緒にかんばりましょう、という気持ちでいまDLPの活動をしています。



ピーシーデポ
スマートライフ長野店
デジタルライフプランナー
大林 みどり

齋藤 大林さんのように、マインドを持ってメンバー様に接し、ご紹介された方々と新たなご縁を結ぶ。PCデポでは、このように関係人口を増やしていきたいと思っています。現在、PCデポとしてDLPの資格制度化を進めています。「SMARTLIFE® AO校」(P.31)では、学校のような位置づけで、同じ志を持つ受講生たちのコミュニティ運営がなされ、資格認定者の仲間が増えていきます。こうしたわかりやすい形になれることで、メンバー様にもDLPという職業をより理解いただくことができると考えています。

関係人口を拡大し、「長野ステーション構想」を実現する

司会 最後に、今後の展開をどのように考えているかお聞かせください。

柳澤 僕たちは、「長野ステーション構想」と言っていますが、ここ長野ベースを起点に、県内でメンバー様が多くおられる地点にCLUB HOUSE(埼玉県所沢市)やCLUB LOUNGE(埼玉県川越市)を構え、DLPはいろいろなエリアでプランナー活動をしていく、という展開です。



齋藤 これは、彼らがDLPとして活動を始めた当初からずっと描いていた形なんですよ。

司会 関係人口の拡大に伴って皆さんの活動範囲が広がっていくイメージですね。山本さんは、どのようなことを期待されていますか？

山本 DLPの活動が地域社会で求められていることは確かです。プランナー活動をもっと多くの方に知っていただき、地域に広がるといいな、と思います。長野の人々のくらしや経済を元気にしていくことになるので。私たちもDLPの皆さんの思いを取材先の方々に理解いただいて、長野の皆さんのくらしを豊かにする役割と一緒に果たしていきたいと思っています。

司会 齋藤さんは、DLPの皆さんにどのような期待を持たれていますか？

齋藤 個人的には、DLPは次のステージに向かっていく時期だと思っています。知識面は生成AIで充実させられる時代になったので、いかに活用するかです。一方、お客様では、人柄でメンバー様の輪を広げ、関係人口を増やせるDLPにならなければなりません。これまでDLPたちは、自身のマインドをチェンジして長野ベースを作り上げてきました。マインドチェンジしたらひとりひとりの力は強いことを証明してくれたので、これからもその姿勢で進んでいく欲しいと思います。

対談司会

サンメッセ株式会社 **山吹 善彦**

会員様とDLPの 立ち寄り場として

お困りごとをお持ちのお客様にお越しいただく「店舗」から、
会員様との待ち合わせ場所・会員様のご自宅に訪問する「拠点」へ

今、PCデポの「店舗」が進化しています。

PC関連のお困りごとをお持ちのお客様が来店し相談をする「店舗」形態から、
会員様のもとにデジタルライフプランナーが訪問し、デジタル化する社会のく
らしに伴走する「拠点」となっています。

在庫を極力減らし、必要なデジタル機器は会員様とデジタルライフプラン
ナーがカタログを見ながら注文、届いたデジタル機器のセッティングを行って
います。

拠点は待つ場所ではなく、会員様との待ち合わせの空間であり、かつ会員様
のご自宅に訪問するための拠点となっています。

これにより会員の方々と接点を持つ機会は倍増。しっかりと会員様のくらし
に伴走しています。



会員様との待ち合わせ場所
ディスカッションのスペースへ



訪問する際に自転車が活躍



PCの故障、修理もお任せください



横浜をカバー



常に会員様に良くなるように、
自分達でDIYしています。



「デジタル化する社会に伴
走していきます」
デジタルライフプランナー
みなとみらい責任者
東 恵美

デジタルライフプランナー

自分から人をつなげていこうとする
意識が強くなっています

以前のBASEでは、お客様が来店されていましたが、今
は自ら会員様のご自宅におかがいしています。待つので
はなく、自分から人をつなげていこうとする意識が強くな
りました。また、PCデポ宛に連絡が入るのではなく、「●●
さんいる？」という電話が増え、担当制が広がっているこ
とを実感しています。

会員様と接するスタイルも変わり、デジタルデバイスの
実物を見なくても、会員様がカタログを見ながら注文して
くださいます。会員様のデジタル環境をわかっている私を
信頼しているからこれが普通になっています。これからも、
会員様がもっと気楽に用が
なくてもカフェに行くような
感覚でここを訪問してい
ただける、そんなBASEになる
ように工夫をしていきたく
いです。

SLみなとみらいBASE
FM横浜担当
旅する倶楽部委員
横浜地区エージェント

水野 理紗

Fm yokohama
PRIMETIME
『人と人にデジタルを』も
お聞きください(P21)



デジタルライフプランナー

会員様と一緒に考え、学び続けていきます

4月に入社し、はじめは店舗で電話を受けていました。移
転以降、電話や手紙で連絡をして訪問しています。手紙は、
はがきサイズ程度のメモで、会員様ご家族にとって今後必
要となることをお知らせしています。すぐに連絡がなくとも、
手紙を出したことは覚えていただいているので、次の会話
につながっています。

BASEはラウンジであり、契約で利用したり、お近くの会
員様が集える場所となっています。会員様専用の憩いの場
所となるよう、更なる改装に挑戦していきたく思います。

これからも「御園」がいるというくらしの価値やDLPとい
う職業の価値に共感してくだ
さる会員様や紹介してくださ
る方々を大切にしていきたい
です。そして、まだまだ未熟で
あることを自覚し、会員様と
一緒に考え、学び続けていき
たいと思っています。

SLみなとみらいBASE
横浜地区エージェント

御園 幸輝



会員様との接点が倍増

「デジタル生活の安全」について

思わぬ危険は事前に回避できる
皆様の理解と行動で安全なデジタル生活を

— アップデートされていないスマホは、
車体のないタイヤだけの車？

野島 以前、『Forbes JAPAN Web』のある記事(※)を読んだのですが、考察するに、アンドロイドのスマホはOSがアップデートされないまま、販売されているものもあるかもしれませんね。

近藤 売ることだけを目的とした販売店だと、更新の仕方を知らない店員さんもいるんだと思います。

寺嶋 買ったばかりのスマホだから安心だと、疑うことなく使っている方がいらっしゃるのが怖いですね。

野島 私たちは、安心できるものしかお渡ししないというポリシーがありますが、販売店によってそのようなケースがあるとよくお聞きするので、悲しいですね。

山本 スマホ教室などでたまに「私だけできない」っていう方がいらっしゃるのですが、それはアップデートされていないことが原因なのかもしれないですね。

野島 セキュリティの観点で言えば、アップデートされていないスマホは、シートベルトがついてない車よりもさらに危ない感じですね。

近藤 ドアもないというか、ただタイヤがついたものに乗っている感じですかね。

野島 ドアもないフロントガラスもないとなると、モノが飛んできて防げない。ノーガードだから、ウイルスや個人情報、大事な思い出も守りようがないです。

山本 想像できないですね……。

野島 アンドロイドスマホの一つである「らくらくホン」は、安全面と活用面の扱いが難しいので弊社では以前より取り扱っていませんが、会員の方がお持ちのケース

もあります。サポート側では苦勞もあつたんじゃない？

寺嶋 よかれと思ってラクにされた反面、「これがしたい」というリクエストにたどり着けないということもありましたね。

近藤 エンジニアを18年やっている私でも、サポートできる範囲には限界があります。

寺嶋 この状態で「らくらくホン」はじめ、すべてのアンドロイドスマホをサポートしきれるかという、残念ながら手に負えないという結論に達してしまいますね。

野島 一方で、アップデートしていないと機能が制限されるスマホもあるよね。車であればドアを閉めていないとエンジンがかからないのと同じで、安全が確認できるまで使用できないようにしている。

寺嶋 一見、強制的で不便に思えますが、使う人の安全を第一に考えられていますね。



株式会社ピーシーデポコーポレーション
代表取締役社長 野島隆久

— この健康管理ウォッチ、OSがわからない?!

野島 僕がもう一つ心配しているのは健康管理ウォッチ(スマートウォッチ)で、いまや通信販売でも売っています。エンジニア目線で見ると、安全面、活用面について相談されたらどう？

近藤 正直、難しいと思います。そもそも、どういったOSが使われているかがわからない製品もあるので。

寺嶋 安全性が確立されていない、確認できていない製品が、のちのちお客様にとって不便なものや危険なもの

私たちの暮らしに欠かせないデジタル機器ですが、間違った使い方や古い機器を使い続けること、知らないで安全に使っていないことなどで、思わぬ危険に直面しかねません。こうした危険を回避し、安全なガードレール内でデジタル機器を利用できるように、PCデポでは、2024年2月にセイフティガイドを発行し、10月からは会員の皆様に安全講習会を開催し、皆様に安全に努めていただくことをお願いしていきます。これに先立ち、デジタル機器や販売者、提供者に潜む危険を知り、安全なデジタル生活の確保について、長野県で情報誌「ほっとパル」を発行する株式会社アスクの山本社長、PCデポ社長の野島、デジタルライフプランナー®の近藤、寺嶋の4名による座談会を行っています。

になることは避けたいです。

山本 私は、体重、血圧を毎日、図るように医者から言われているし、最近、動悸もするので心電図機能がついたアップルウォッチを購入しました。年齢を重ねると健康管理ができるこうした機器が欲しくなるとは思いますが、気軽に購入すると危険もあるのですね。

寺嶋 そうですね。ですから弊社で扱っていない製品でも、購入する際はデジタルライフプランナーに、まずご相談いただきたいです。

野島 私たちも、できる限りのことはさせていただきけれど、本質は長くお使いいただくこと。デジタルの安全を確保するため、皆様に「プランナーに相談して」とお願いしていくのが良いですね。

— データはデジタル化すれば安心、ではない!

野島 健康データをはじめデジタル情報は、共有できることが利点です。だから使う機器は、簡単な手順でデータ共有できるものの方がいいですね。

寺嶋 家族写真なんかも家族で共有したいですからね。

野島 我が家では、スマホで撮った写真だけでなく、昔、ガラケーやデジカメで撮った写真も、すべて1台のパソコンにデータをまとめ、クラウド上に保存し家族で共有しています。

近藤 クラウドを使えばパソコンやスマホに何かあってもデータは守られますね。

野島 CDなどにデータを保存しても結局、劣化してしまうとデータが取り出せなくなるからね。



エンジニア歴18年のエキスパート
デジタルライフプランナー
ピーシーデポスマートライフ長野店 近藤雅彦

山本 えっ、そうなんですか？ デジタル化しておけば、ずっと残ると思っていました…。

近藤 CDは、保管状態を良くしておかないと劣化しやすいんです。

山本 知りませんでした…。うちは2年前に父が亡くなり、残した写真が紙焼きばかりだったので、写真探しに苦勞しました。そうした写真もデータ化してクラウドに保存しておけば、思い出がいつまでも残り、家族は安心ですね。

野島 そうなんです。それに最近では高齢の方もご自分のスマホで写真を撮られるから、亡くなった後にデータを取り出したいなんて相談もありそうですね。どうかな？

近藤 あります。スマホだけでなくパソコンを持ち込まれる方もいて、相談は多く受けます。

野島 やっぱり家族でデータを共有するパソコンがリビングに1台あるといいね。

山本 ほんとうですね。そこにあるってわかると安心できます。

寺嶋 高齢の方とお話すると、家族に迷惑をかけたくないとおっしゃることがとても多いんです。なので、その対策の一つとして大事なのかな、とも思いました。

野島 僕は、複数のものを器用に使うのが苦手なので、スマホ、パソコン、タブレットなど、端末が違っても使い方が共通でわかりやすいものを使っています。だから、デジタルは得意ではないけれども、それなりのことができていて、そういう環境にすることも重要ですね。

デジタル生活を安全にするため
全国のプランナー活動に
ご協力をお願いします
2023年7月に創刊した「デジタル
生活安全のしおり」は、次ページより
掲載しています。



長野市内と近郊に配布する『ほっとパル』発行
株式会社アスク
取締役社長 山本恵美子さん

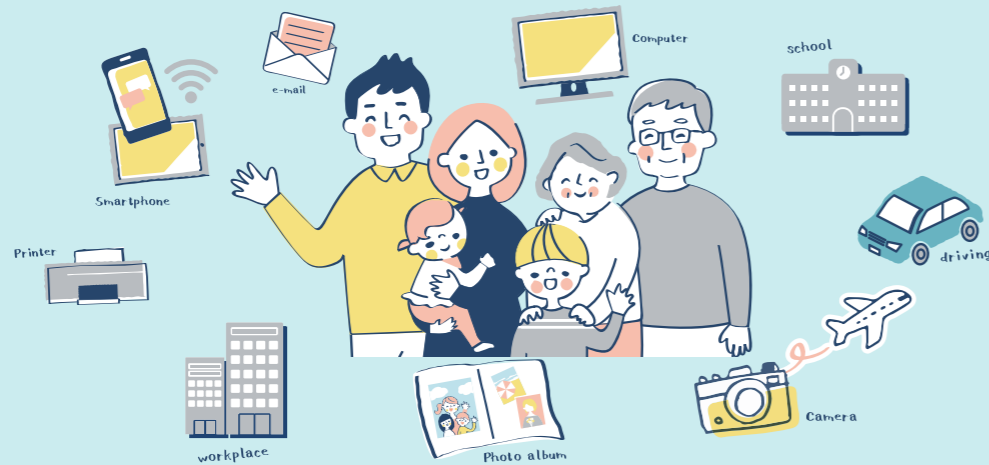
※参照元: <https://forbesjapan.com/articles/detail/30289>

デジタル生活 安全のしおり

ご家族皆様へのお願い

今や私たちの暮らしに欠かせなくなってきているデジタル機器。しかし、間違った使い方をしたり、古くなった機器を使用し続けると故障やハッカーにとって容易な標的になりやすくなるなどの危険性が高まります。ご家族の機器にも影響を与えることもあります。この「デジタル生活 安全のしおり」は、会員の皆さまひとりひとりがデジタル機器やサイバーセキュリティ等に関する基本的な知識を理解して、安全にお使いいただくためのものです。周囲の方々や関わるすべての方の安全・安心のために、ご自身の安全確保をお願いしております。

ご家族やご友人、職場など 周りの方々の安全・安心のために ご自身・ご家族の**安全確保**の ご協力をお願いします



ご協力のお願い

インターネットを 安全に使いましょう



心当たりのない送信元からのメールや添付ファイル、本文に記載されているURLを開くと詐欺に遭う可能性が高くなります。クレジットカード情報が不正入手され、通販サイトで不正利用される恐れがあり危険です。閲覧できるメール、URLなど「用心」をお願いします。

ご相談ください

- 心当たりのないメールは無視。添付ファイルや本文中のURLは絶対に開かず、すぐにお持ちください。
- 偽サイトや嫌な予感がするサイトには用心しましょう。
- 不安な時は開かずに、いつもの担当プランナーにご相談ください。

ご協力のお願い

デジタル機器は 信頼できる人から購入しましょう



最近では、オンラインで手軽にさまざまな機器を購入できるようになりましたが、安価なデジタル機器は、偽物である可能性が高く注意が必要です。また、新規購入時には万が一の際に復元できるよう復旧処置をお願いします。

ご相談ください

- デジタル機器を購入する際は、いつもの担当プランナーにご相談ください。当社で扱っていないものでも、お気軽にご相談ください。
- 信頼できる正規販売店、信頼できる人からのご購入をお勧めします。
- オンラインストアを利用する場合は、信頼できるサイトかどうかを確認しましょう。

ご協力のお願い

デジタル機器は 最新の状態に保ちましょう



パソコン、スマホに見慣れないエラー表示が出たり、動作が遅くなったままにしておくと故障や大きなトラブルにつながる恐れがあります。攻撃できる穴を作らない、ひとりひとりの行動が、安全なインターネットを作り社会インフラを支えます。

ご相談ください

- ご家族のパソコンやスマホの定期点検(会員さま無料)にお持ちください。
- 本体もOSもセキュリティソフトも重要ソフトもアップデートして常に最新の状態にしましょう。
- 古い機器は前もってご相談ください。ゆっくりやってみましょう。

ご協力のお願い

パスワード・個人情報などは 安全に確保しましょう



パスワードが流出すると、ハッカーが個人情報等を盗み出したり、不正な操作を行う危険性が高まります。皆さまの個人情報の安全が確保されていることは、ご家族はじめ、お仕事、学校、行政等すべての関係する皆さまの安心につながります。

ご相談ください

- パスワードは必ず手帳に残しましょう。
- パスワードの安全性を高めましょう。
- パスワード使い回しは絶対にしないでください。
- パスワードの安全確保についてはいつもの担当プランナーにご相談ください。

ご協力のお願い

大切な情報を バックアップしましょう



とくに近年は感染すると身代金を要求するランサムウェアの流行により、バックアップの重要性が格段に上がっています。いち早く復旧して作業を継続するには、システムやデータのバックアップが不可欠です。データの取り扱いに「用心」いただきますよう、ご協力ください。

ご相談ください

- 定期的にバックアップをしましょう。また、バックアップデータは別の場所に保管しましょう。
- 社内ルーターのセキュリティを高めましょう。
- セキュリティソフトを導入しましょう。詳しくは、いつもの担当プランナーにご相談ください。

ご協力のお願い

自転車や車の安全運転を お願いします



運転中にイヤフォンを装着していると外部の音が聞き取りにくくなり周囲の音に気づかず、交通事故を引き起こす可能性があり危険です。法律で禁止されている場合があります。もちろん、運転中のスマホは絶対にやめましょう。日ごろからゆとりある行動にご協力をお願いします。

ご相談ください

- 自動車を運転する際は、車載Bluetoothシステム等の使用を検討しましょう。
- 自転車も、イヤフォンの使用は避けましょう。
- 徒歩の場合は、外部の音が聞こえるイヤフォンをお勧めします。

旅行など外出先でも デジタルを安全に!

外出先は意外とセキュリティリスクがいっぱいです。

紛失・盗難・覗き見に 注意しましょう

自分のスマホやパソコンが他人から見られている可能性があります。

スマホの待ち受け画面に重要な情報は通知されないように設定してください



NG!

公衆Wi-Fiの利用は 注意しましょう

第三者に通信内容を傍受され情報漏洩につながるリスクがあります。

スマホのデザリングをご相談ください。

お店のアクセスポイントと同じ名前の偽アクセスポイント

データ抜き放題

数秒あればUSBメモリをさしてマルウェアに感染させよう

席にスマホやパソコンを置いたまま席を離れないようにしましょう

必ず画面ロックをかけてセキュリティ対策は必須です。

席を立ったらカバンを盗もうスマホいっただい!



WARNING

海外旅行では、スマホの引ったくりにご注意ください!

スマホの上部に人差し指を置いてしっかり持ちましょう。また、スマホリングなども活用しましょう。

ご協力をお願い

旅をより安全に! 便利に楽しむために!

旅行には予想外のことが起こり得ます。交通機関の遅延、宿泊施設が満室、盗難などさまざま。楽しいはずの旅行が台無しにならないために、事前にリスクを回避できる準備をしておきましょう。

ご相談ください

- 事前に、ホテルや乗車券・レンタカーなどをネット予約・購入しておきましょう。スマホに情報が一元化できるのも便利です。
- 地図やナビゲーション、翻訳サービスなどをインストールしておくとう便利です。
- 安全に快適に旅行を楽しむために、いつもの担当プランナーにご相談ください。

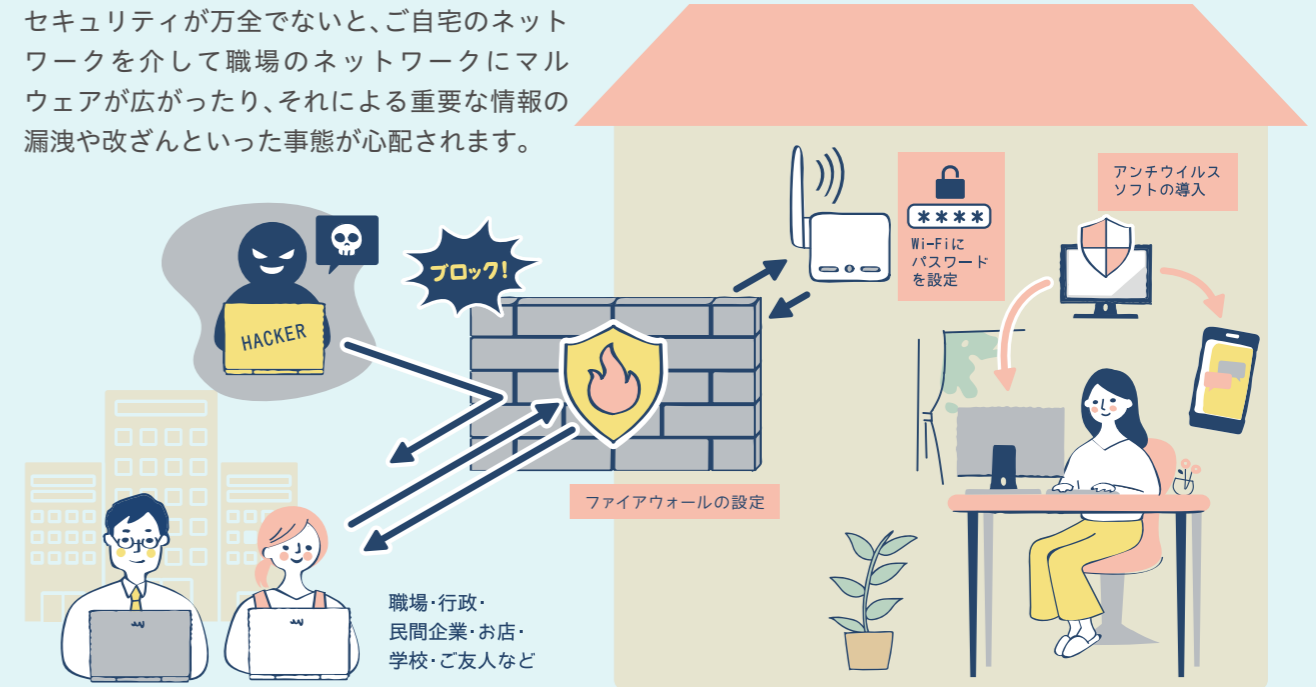
ご注意ください

- 海外でお財布を出すのは大変危険です。海外や地方に行くことを考えて、アップルペイの登録をお願いします。
- 海外では、交通系カード(Suicaなど)やバーコード式電子マネー(PayPayなど)は使用できませんのでご注意ください。

インターネット環境の 安全確保をお願いします

当社のSSW(無線機)ご利用以外の方は、一度ご相談ください。

ご自宅のルーターやパソコンなど周辺機器のセキュリティが万全でないと、ご自宅のネットワークを介して職場のネットワークにマルウェアが広がったり、それによる重要な情報の漏洩や改ざんといった事態が心配されます。



WARNING

当社のSSW(無線機)をご利用でない場合は、いつもの担当プランナーにご相談ください。

ご家庭の『安心・安全生活』にご協力ください

ご協力をお願い

離れて暮らす ご家族の安心



離れて暮らすご家族さまが安心して過ごせるようご家族さまの繋がりにご協力をお願いいたします。

ご相談ください

- iPhoneビデオ通話機能を使用して、顔を見ながら会話をしましょう。
- iPhoneを使って写真・動画のやり取りもお勧めします。
- iPhoneや見守りカメラなどを活用して、離れたご家族の安全を見守りましょう。

ご協力をお願い

大切な 思い出の安心



ご家族やご友人との絆を深め、人生をより豊かにするための大切な思い出が失われることがないようご協力いたします。

ご相談ください

- プリント写真はデジタル化し、思い出をいつまでも保管しましょう。
- スマホで撮影した写真は、バックアップして保管しましょう。
- 大容量の「おもいでばこ」などに写真や動画を保存し、ご家族で思い出の写真をスライドショーで楽しむのもお勧めします。

ご協力をお願い

家計・お財布の 安心のために



デジタルを活用すると家計の管理や節約が前もって楽になり、家計の安心を高めることにつながります。

ご相談ください

- 定期的に、家計を少しずつデジタルで見直しましょう。
- 家計の節約を心掛け、管理しやすくする電子マネーをスマホに入れましょう。その際は、パスワードをきちんと管理しましょう。
- デジタルでさまざまなことができますので、いつもの担当プランナーにご相談ください。

ご家族デジタル安全確保チェック欄

離れて暮らすおじいちゃんおばあちゃん、お子さま…大切なご家族のデジタルが安全確保できているか確認しましょう

	確認年	確認年
【例】 <input type="checkbox"/> お父さま	2023年 <input checked="" type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>
以下チェックしてください	年 <input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>	年 <input type="checkbox"/>

これからの時代の「学び」の安全運行

世代を通したデジタルと学びのことをぜひ、プランナーにご相談ください

※AIを用いた学習などを想定した内容は2023年10月更新予定

未就学期

(お子さまが1歳～入学準備)

知育玩具、人、自然に触れ、さまざまな実体験を忘れず、一定の時間でデバイスとの距離を置かず、親と一緒にデバイスに触れること。

1～3歳程度

1. 親と一緒に使っているデバイスがオススメ(親御さんがiPadを所有)
2. 親の目の届くときに使うなど時間を制限する

3歳～入学準備

3. iPadをお子さん専用など身近に置き積極的に使用しよう
4. 家族共用のPC or Macを身近に置き日常的に使用しよう
5. 子どもが楽しみながら学べる、知育性の高いアプリを親と一緒に楽しむ



- ・親と共用iPadを身近に置き、日常的に触れさせ、工夫させる。
- ・親のコンピューターも、身近な日常に置き、意図的に意識させる。

小学生低学年

本物の実体験や、実物の感触、また本物を作る、モノを壊すなど、直に実物を体験することが必要です。

学びをデジタル能力でアップスケール

1. 自身の専用iPadを使っている学習
2. iPhoneは「デジカメや音楽再生」など単機能として使用
3. PC & Macは半専用、または家族共用でも



小学3年生～中学入学

1. 机はPC、Macなどのコンピューター中心
2. サブ機の利用はiPad
3. そのコンピューターの情報格納基盤にどんどん情報を集められる能力
4. コンピューターは性能が良いものを選ぶ
5. 中学生にはPCまたはMac新品・専用機は是非
6. PC & Macを中心に基礎・基盤ができていなら専用のiPhone
7. 通信料金などのコストを抑えてコンピューター学習の原資に

小さい頃からPCが身近にあるお子さんの、**組立PCデビュー**は、小学生・中学生なら相当な優位性です。= デジタルしなやか人財となる可能性高



「先回りデバイス準備」が肝心

1. この時期からデジタル開始であれば、まずPC or Macからスタート
2. PCを使い慣れたら、大型モニターを付けてあげてください
3. スポーツ観戦など、自由な実物体験ができる環境を

高校～大学*

自分専用のPC、Macは高校入学前は絶対。(早ければ早いほど良いです)

「将来の最大の仕事道具」=人間の自発的な情報収集力・編集力・思考力

1. やる気がでるデバイス
 - ・MacBook Pro+大画面モニター
 - ・Surface+大画面モニター
2. サブスクリプションのソフト
 - ・Adobeイラストレーター
 - ・各種編集ができるソフト



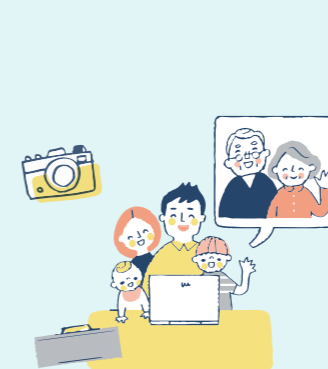
子を持つ社会人・主婦

小学生までのお子さんを持つ親御さま

1. PCまたはMac、または家族共有のMac
2. お子さまと一緒に高度なソフト、楽しいソフト、イラストレーターなどに触れる

未就学～小学生入学ごろのお子さんを持つ親御さま

1. iPadはお子さまと一緒に使う→お下がりへ
2. デジカメ/プリンターなどの機器を使う



ミドルキャリア

人生100年時代

1. デジタル社会から距離を置かない
2. デジタル苦手のまま快適スマート生活
3. コンピューターにデータ格納iPhoneなどのスマートデバイスの活用

今後の趣味や仕事に役立つデジタル

1. 家族で共用のiPhone用 Mac
2. 時代に求められる情報編集力に



ベテランキャリア

「学びがあると楽しい」

1. iPhoneまたはiPhone + Macは必須級(特に70歳以上)
2. これからの長い時間を過去のデバイスの良さを活かして、生活の中心になるIoTに楽に移行できるように備えよう。
3. iPhoneを普通に(写真・地図、FaceTime程度)使える状態で、Macで音楽や趣味などとふれあいができます。

本体は家族にお下がりや知人にスライドするなど、データだけでも手元近くに残しておくことで安心です。



メンバー様はデジタル苦手でも楽に快適スマートライフ

お子さまの学びを安全に守りましょう

ご高齢者を安全に守りましょう

ご協力をお願い

自宅学習における安全確保のお願い



GIGAスクール構想により、全国の小中学校では児童・生徒1人1台の端末が配布され、ICT教育環境が充実してきました。一方で、ネットいじめやパスワードの流出などにより、ネット上でトラブルになる可能性も心配されます。

ご相談ください

- 親御さんは、ぜひお子さまのデジタル学習に興味を示してください。
 - 親御さんは、学校で配布されたアカウントの管理をしっかり行いましょう。
 - デジタル学習において、コンテンツの安全性が確保されていることを確認しましょう。
 - セキュリティ対策をお願いいたします。
 - 積極的に「情報モラル教室」に参加しましょう。
- ※詳細は、いつもの担当プランナーよりお知らせします。

ご協力をお願い

通学中の安全確保のお願い



いざという時のために、お子さまが今どこにいるのかすぐにわかるGPS位置情報の活用は非常に有効な手段です。ただし、GPSも悪用されないようご注意ください。

ご相談ください

- デジタルは万全ではありません。お子さまには笛などを持たせて、心理的安心をお願いします。
- 事前に通学路等を調べて安全な通行をお願いします。
- お子さまの安全を守るサービスや機器についてはいつもの担当プランナーにご相談ください。

ご協力をお願い

「学び」が継続するためのお願い



ご高齢者がデジタルを活用した「学び」を継続することは、認知機能の向上、社会とのつながり、生きがいの創出、介護予防、生活の質の向上などさまざまなメリットがあります。

ご相談ください

- 年齢や体力に応じて、自分のペースで学習することが大切です。焦らず、無理せず、欲張らずにお願いします。
- ご高齢者の生活をより豊かに、より安心したものにするために、ご家族は「学び」の支援をお願いします。
- わからないことは、いつもの担当プランナーにご相談ください。

ご協力をお願い

ご高齢者の安全確保のお願い



年々、送信元アドレスやメッセージ中のリンクを確認しただけで詐欺と見抜くことは難しくなっています。慎重にチェックしましょう。とはいえ、防災情報など安全確保に必要な情報を得る手段としてデジタルは有効です。

ご相談ください

- デジタルは万全ではありません。
- 心当たりのないものは無視し、心当たりがあるものでも、そのメールやメッセージのURLなど絶対にアクセスしないようにしましょう。
- ご高齢者の安全を守るサービスや情報アプリなどいつもの担当プランナーにご相談ください。

デジタルパイロット® 構想

PCデポは、プロeスポーツチーム「VARREL」をサポートしています。
eスポーツ選手が競技引退後、社会課題の解決、デジタル人材の不足やデジタル格差解消に貢献し、サイバーリスクなどの問題を解決できるデジタルパイロット®として活躍することを期待しています。

eスポーツがもたらす可能性と社会的意義とは

日本におけるeスポーツの直接市場の長期目標を2025年に600~700億円と設定するとともに、エコシステム領域における経済活動、波及領域へ及ぼす経済効果を含めた全体の長期目標を2025年に2,850~3,250億円と試算しています。

またeスポーツには、経済効果にとどまらない以下の3つの社会的意義があります。

- 1 人生を楽しく健康で生き生きとしたものとする
- 2 共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化
- 3 「多様性を尊重する世界」「持続可能で逆境に強い世界」「クリーンでフェアな世界」の実現

このようにeスポーツの中長期的な市場の成長、そして社会的意義の浸透に向けて各アクターに求められる教育・国際交流に活用する動きが全国に広がっています。

出所：経済産業省「日本のeスポーツの発展に向けて
～更なる市場成長、社会的意義の観点から～」を要約掲載



PCデポが考える デジタルパイロット® 構想とは

デジタルパイロット® 構想は、地域で発生するさまざまな社会課題に対し、スマホ、PC、タブレット、ドローンなどさまざまなデジタル機器を駆使し、航空パイロットがふさわしい航路を見極め、安全に乗客を目的地に運ぶように、デジタルライフプランナーとして会員様の豊かなくらし実現を誘導していけることを目指しています。

この担い手として、eスポーツプレイヤーが現役引退後に社会課題の解決に従事するようになること、社会課題を解決できる人財となってもらうことを想定しています。一次産業や災害派遣、高齢者の支援など、さまざまな社会課題を解決するためにデジタルパイロット®が活躍する社会をつくり出そうとしています。その最初の一步として、eスポーツを学ぶ学校「VASE」を開設し、新たなコミュニティや雇用・機会などを提供する環境づくりを始めています。

(詳しくはP.77) <https://pr.vase.jp/>



e-sports高校生大会 聖光学院主催



VASE

学びとeスポーツの相関性は!?

ピーシーデポコーポレーション ▶ 麻布高校 ▶ 聖光学院高校 ▶ VARREL

代表の野島が、日本で上位の偏差値を誇る麻布高校と聖光学院高校のeスポーツ同好会のお2人と、VARREL社長を交えて、eスポーツが学びに与える影響、その先の可能性をテーマに、対談形式で語りあいました。

——学力の高い人は戦略的であり 相対的に時間の使い方が上手

秋山 eスポーツ市場は、ここ5年で約3倍になっているようですが(※)、学力の低下を心配する親御さんもいるのではないのでしょうか。

野島 実は以前、学力とeスポーツの相関を調べたことがあるんですが、eスポーツをやっている若者は、時間の使い方が上手だったり、戦略的に物事を進めることがうまかったり、学力向上に通じる部分が多く備わっていると感じました。

浦田 先日、麻布高校卒、東京大学卒のプロゲーマーの方と話す機会があったんですが、やはりタイムマネジメントがうまいと感じました。ゲームのできない時間に勉強をやるという逆の発想で、通学の電車内で勉強をして、家ではゲームをしていたという話をお聞きました。

高草 “今やろう”と思って、結局やらないという人も多いですから、計画性がある人は勉強もできるのかなって思いますね。

鈴木 僕がeスポーツを始めた2011年ころは、社会不適合って言われてたんですけどね(笑)。

浦田 昔なら“勉強しろ”って言われるところ、今はそれがなくなったのは事実ですね。

野島 それはきっと、戦略的にやれているからだと思います。

高草 僕はまだ自分を律せられていない部分もあるので、もっと戦略的になりたいと思っています。

鈴木 そうやって自分で考えて行動することこそ、学力にいい効果を及ぼしているように思いますね。

※参照元: https://jesu.or.jp/contents/about_esports/



▲ eスポーツ合宿をするにあたって、麻布高校の浦田さんが提出した企画・提案書



ファシリテーターの秋山菜月
デジタルライフプランナー。
VARRELの母とも
呼ばれている。



野島隆久

株式会社ピーシーデポコーポレーション
代表取締役社長



浦田恵介さん

麻布高等学校 1年
eスポーツ同好会



高草 翔さん

聖光学院高等学校 1年
eスポーツ同好会



鈴木文雄さん

株式会社 VARREL
代表取締役社長

——eスポーツは 情熱と技術を注ぎ込めるスポーツ

秋山 麻布・聖光学院・開成高校の生徒でeスポーツ合宿をするにあたって、企画・提案書を作成され、社長もご覧になったとうかがいました。

野島 レポートに「コーチング指導の強化」とあるけど、コーチングっていう言葉は、どこで知ったの？

浦田 eスポーツだと、わりと一般的な言葉なんで

す。サッカーだと、プレイヤーがフィールドに出てしまうとコーチは声をかけられない。でも、eスポーツはボイスチャットをつなぐから2分に1回、しゃべろうと思えばしゃべれる。その密接なコミュニケーションに、コーチングは欠かせないんです。

野島 企業の世界だと、マネジメントが多いけど、スポーツはコーチングが本当に進んでいるよね。

浦田 コーチの皆さんがよくいうのは、「相手の立場にたつ」とか「価値観を合わせる」。その上で、自分の

教えをしていくみたいなの。

野島 なるほど、そこはコーチも“らしさ”が出るし、教わるプレイヤーも“らしさ”が出る。

高草 ひとりひとり主体的になって、つなげていくっていう感じですね。選手同士も互いに教え合いますが、やっぱり得意不得意がある。その部分を繋げたり、意見を出したりして自分で考えるのがeスポーツのいいところだと思っています。

デジタルパイロット® 希望の持てる未来を子どもたちに。 自ら考える機会を創出する空間 「SMARTLIFE® AO校」間もなく登場

野島 プレイ中の選手たちの顔色や目を見ていると、その時の調子とか勝敗のポイントが分かるからおもしろいよね。

鈴木 確かに、選手の取り組んでいる姿勢とか発言とか成長を見ているのは楽しいですね。特に、コミュニティやX(旧Twitter)の発信とか。

野島 今回の合宿の目標を「高校生団体の繋がりや関わりを増やしたい」にした理由はどこから？

高草 規模が大きい方が楽しいですし、コミュニティが広がるとそこに面白さが生まれる。また、いろんな人と触れ合えたほうが切磋琢磨して学ぶことも多いので。

浦田 ゲームとeスポーツの差は何かと聞かれることも多いのですが、eスポーツは、自分でマネジメントしたり戦略を考えて、ゲームに自分の持っているものをすべて注ぎます。その中にはマナーも含まれます。でもゲームだと、自分の情熱とか持っている技術を注ぎ込まない。だからゲームにとどまっている。僕たちがeスポーツの活動を示すことで、家でゲームしているだけの人を引っ張り出したって考えているんです。



野島 僕は、将来eスポーツ人材は社会課題を解決する人材になるってずっと言ってるんだけど、なかなか耳を傾けてもらえなくて。

高草 ゲームは遊びって印象が強いんですかね？

浦田 サッカーとか野球とか、運動を大学までやって就職っていうケースもあると思うんですけど、それって精神力とか忍耐力、空間把握とか筋力が評価されていますよね。eスポーツだって空間認識能力も

ありますし、判断力はピカイチだし、反射神経とか指の動きとか、評価に値する能力ですよ。

鈴木 瞬時の判断力や、最適解の早さは本当にすごく感じるよね。

浦田 全部、あらゆる場面、局面で「if」を考えてやっているんで、思考回路は尋常じゃない人が多いですよ。eスポーツの方が処理しなきゃいけない情報



▲ 野島社長と自学創出空間「SMARTLIFE AO校」の企画を見ている浦田さんと高草さん

が多くて、簡単に言うなら、囲碁将棋と同じですよ。

野島 盤面の枠を広く予想して、そこに瞬間力とか、仮設のアジャイルして思考(アップデート)できる人だよ。これからの社会では、状況に応じて人の動きや世の中の状況まで全部頭の中に入れて行動することが重要じゃん。昔は詰め込み教育で、知識がいっぱいある方が正しいってなっていたけど、時代は変わってきているよね、確かに！



——自ら行動できる子どもの教育にも力を入れているとのこと。

野島 いま、デジタルライフプランナー®の資格をテストスタンダードという考え方で、4万時間以上かけて作っているんですが、「生活者のデジタルライフを支援する人」のための資格はおそらく日本初。さらには今後、新しい資格も計画しています。

鈴木 eスポーツの資格って、何かイメージあるかな？

浦田 依存症も心配だし、保護者の不安も多いから、それをコーチングしてくれる資格(有資格者)が欲しいですね。

野島 来年から店舗の一部が「AO(アドミッション

オフィス)校]になって、資格を勉強したり、資格を生み出すスペースが日本各地にできていくんです。子どもたちには自ら学んでもらって、自分の住む町のデジタルにまつわる地域課題を解決する人材になってくれたらいいなと思って。未来の子どもたちが、“やりたい”って思える「希望を持てる」職業を作ることには価値があると思っています。

鈴木 それはeスポーツのみならずってことですよ。

野島 はい。潜在的な課題は地元地域にあるから、デジタルに関わる職業を創れば都会でなくても仕事はありますから。

高草 教育も地域で基盤からやってかないと、解決できる人材が生まれないうってことですよ。



浦田 自分で考える力を子どものうちから身に付けさせたいと。

野島 そう、それを地域にあるAO校内で行う。課題解決のためにはこんな資格があったらいいよねとか、ディスカッションしながら楽しく。チームで喜怒哀楽を感じながら行うeスポーツと同じですよ。一見全く違うことをやっているようだけど、すべてが職業普及につながっているんです。

デジタルパイロット構想、知恵とeスポーツで養った能力を持つ皆さんのご協力を、お願いしたいと思っています。

参画

eスポーツ選手・学生の皆さん、新しい未来に参画しませんか！

eスポーツに取り組む選手や学生の皆さんの才能を生かして、これからの時代に必要な「人ならではの」職業創りへの参画や、デジタルの強みを生かした農業や医療などの新たな分野に挑戦していくデジタルパイロット、新しい未来を創っていきませんか！詳しくは担当のデジタルライフプランナーまで！

デジタルパイロット®プロジェクトを 具体化していくための第一弾プロジェクト



eスポーツ拠点・複合施設を開設、地域社会の活性化を目指し、
VARREL、PCデポ、京急電鉄が連携協定を締結、
横浜市後援「横浜GGプロジェクト」を発足させました



横浜エリア
eスポーツ推進
コミュニティの設立へ

eスポーツコミュニティの普及・推進を
通じた地域経済の活性化、新たな雇用
の創造、まちづくりなど、横浜地域社会
における連携の枠組みを創出する。

地域とのつながりを強めながら eスポーツ振興を目指し、地域社会の発展・貢献へ

実現するためのキーワード

これからeスポーツに求められること

stage
プレイヤーが活躍できる場所を
*
education
eスポーツで学んだ力を社会で活かせる力に
*
praise
プレイヤーが称賛される世界に

~eスポーツを経済的、文化的なものにするために~

セカンドキャリア

雇用創出

地域への貢献

横浜GGプロジェクト×デジタルライフプランナー® 共同で取り組む内容

1. 駅構内等を活用した複合拠点開設
(ゲーミング拠点、教室、デジタルライフサポートなど)
2. 地域交流拠点を活用した高齢者向け体験会、
eスポーツ学童施設などの開催
3. 高齢者、障がい者を含む雇用の創出
4. 部活動支援を通じた市場拡大、優秀な選手の発掘育成
5. 地域セミナーの共同開催
(eスポーツとの正しい向き合い方など)
6. eスポーツを活用した引きこもり支援事業
7. eスポーツを活用した地域コミュニティの拡充
8. 選手や選手を目指す若者向けゲーミングハウス
(シェアハウス)の設置
9. 選手のセカンドキャリア支援
10. プラットフォーム参画企業の拡充
11. 横浜ゲートタワーの開業予定のeスポーツ拠点を
活用した活性化企画の実施
12. 京急沿線e-sports大会(カップ戦、リーグ戦)の
共同開催、沿線広域連

2023年5月18日、横浜ゲートタワーにおいて、
eスポーツ活性化プロジェクト「横浜GG(GOOD GAME)プロジェクト」を発足することを発表



「横浜GGプロジェクト」では、駅構内などを活用したeスポーツの複合拠点開設や地域交流拠点を活用した高齢者
向け体験会、そして市場拡大や選手発掘育成などのさまざまな活動を展開しています。
eスポーツを通じた地域コミュニティ拡充により、地域の文化とスポーツ振興を目指し、選手を目指す若者の支援、
そして地域社会の発展に貢献してまいります。

TEAMワークと情熱がさまざまな課題を 解決していく

VARRELの選手たちも、デジタルライフプランナーも、違う立場や異なる業務であったとしても、デジタルパイロット構想の根底を知れば、心の中の見ている景色は同じになる。

その目標を
叶えていくための
さまざまな課題点や
クリアポイント

V
チーム体制
環境の整備



弛まぬ努力と
練習の積み重ね

**優勝・勝利
成果**



デジタルライフプランナー®が軸となる
コミュニティの構築

TEAMワーク(協力・役割分担・コミュニケーション)+情熱=目標(夢) を叶える力、課題解決への原動力。

情報格差の 解消

デジタル
ライフプランナー
資格制度を
構築する

資格構築総時間4万時間



知識スキル体系の整備、
実証実験
(のべ1,000名以上参加)

合宿によるChapter別協議



資格のChapter別にチームを分け、
議論と発表を繰り返し
内容をまとめています

資格制度の整備



課題の解決に向けてチームや
コミュニティで力を発揮する



Providing five values
5つの価値提供

00

5つの価値提供 ～当社のマテリアリティ～

デジタルライフプランナー®による価値提供の実現

今後のIoT機器の普及、少子高齢化、地域格差、人口問題、AI・ロボット化、気候変動・環境問題、世界情勢など来るべき社会構造の変化を鑑み、2018年、次なる成長の確たる考え方として「人間としての生産領域を拡大」という展望を掲げ、「CSR理念に基づく、働き方・生産性・学び方一体改革」に着手いたしました。

顧客の将来価値創造展望、会社の持続性と成長の展望、社員の生活安定への展望をはじめ、あらゆるステークホルダーにとっての展望であります。(2018年5月25日付「ステークホルダーの皆様」より)

関連するSDGsテーマ



Social

社会との関わり方・今後について
社会環境の変化に対する考え方

社会との関わり方・今後について
社会環境の変化に対する考え方
人口構成・少子高齢化や今後のシルバー世代増加等により発生する、デジタル機器との世代ギャップなどの解消に貢献します。



Environment

環境、エネルギーに対する考え方

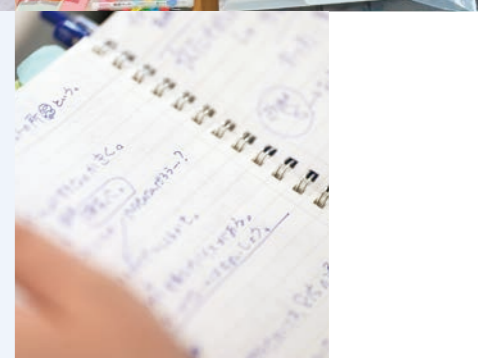
環境、エネルギーに対する考え方
家庭内の使われない休眠デジタルデバイスの活性化、中古品買取・再販、修理などで再活用にご貢献します。



Education

働き方、生産性、学び方改革に対する考え方

働き方、生産性、学び方改革に対する考え方
働き方改革によって、スタッフの学ぶ時間が創出されたことにより、顧客の計画的な需要創出にご貢献します。



Entertainment

楽しさ、人と人のコミュニケーションによる未来創造の可能性

楽しさ、人と人のコミュニケーションによる未来創造の可能性
当社スタッフは、FACE to FACEのコミュニケーションからすべての商品・サービス・空間・雰囲気を提供し、楽しさや未来創造を顧客に提供しています。



Governance

ガバナンス・コンプライアンス・リスクに対する考え方

ガバナンス・コンプライアンス・リスクに対する考え方
顧客の面前で「楽しく、一生懸命」など、顧客本位を軸とした、道徳観や倫理観を持てる人材を育成することにより、ガバナンス強化、コンプライアンス遵守を重要項目に据え、事業を推進しております。



Social

[社会]



フォトコンテスト 優秀作品より

デジタル化が進む社会での一コマ

かつて1995年にWindowsが発売されて、あるいはスマホが登場して、これを当然と思う人とそうでない人の格差は広がってきました。

子どもたちが買い物について、自分で「ピッ」とするのは当たり前となる社会で、デジタルを使いこなすことは豊かなくらし実現につながります。

「帰りにピッしていこうか」

撮影者 飯田 未来 ピーシーデポスマートライフ富里インター店

数十年前はお店屋さんごっこという、おもちゃのレジスター。「いらっしゃいませー」とたくさんの品々の値段を打ってお買い物ごっこ。お店に買い物に行くと、店員さんが手早にレジを打ち、カゴに綺麗に並べていくのは数十年前。時代を経て、買ったカゴを荷物の詰め台に移動する文化は少なくなり、レジの店員さんが対応するレジも1、2台。セルフレジの登場で、子どものお店屋さんごっこが日常に。支払いもタッチレカ、電子マネーでピッ。保育園にお迎えの母と娘の会話は今や「帰りにピッして行こうか」「うん、ピッするー」。

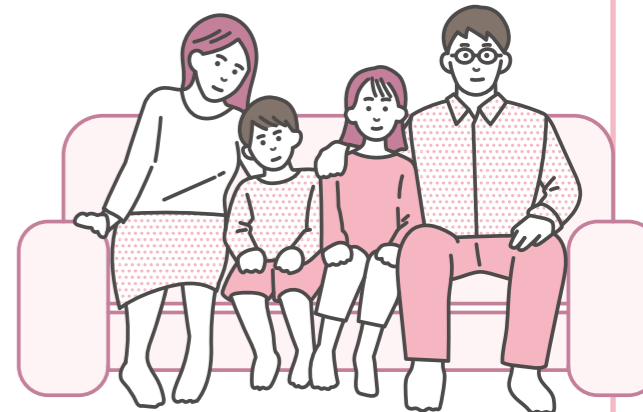


Members' VOICE

動画配信を通じて、家族での団らんがはずんでいます

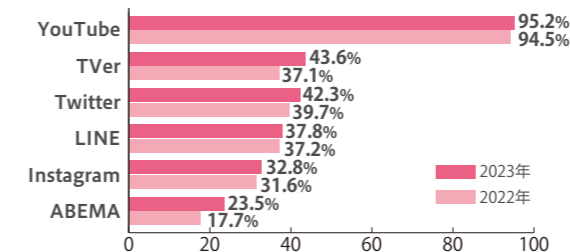
ピーシーデポスマートライフ新座店 K様ご家族

世の中のデジタル環境も子どもの教育も、3~4年前に担当のデジタルライフプランナーからアドバイスもらったことがその通りになっているんです。親子で参加したワークショップを通じて小さいころからパソコンに馴染んでいたおかげで、自ら欲しい情報を検索して調べたり、今では親の私より子どもの方がタイピングが早くなったりしています。家族限定のYouTube配信を通じて、楽しい会話と家族での団らんが始まります。担当のデジタルライフプランナーがいて良かったです。



DATA よく利用する無料の動画(複数回答)

無料動画においてはYouTubeが突出、TVerとABEMAが増加。動画共有サービスを視聴するユーザーに対して、利用しているサービス名を聞いたところ、「YouTube」が95.2%で突出。「TVer」が43.6%で続く。「ABEMA」も5.8ポイント増加。



出典: インプレス総合研究所「動画配信ビジネス調査報告書2023」

デジタルライフプランナーより

お子様の教育、AIの進化など2018年からの社長の野島の講和をそのままお伝えしていたことが、その通りになっています。デジタル環境の今後の変化に備え、デジタルライフプランナーのいるくらしの普及にご協力をお願いします。



大久保 勝幸

ピーシーデポ スマートライフ新座店

Members' VOICE

デジタルライフプランナーより

心配でデジタルの利用を制限するよりも、デジタルライフプランナーと共に年齢に合ったデジタルを安全に使うことができれば、お子様の可能性は広がります。これからの社会を担うお子様が大きく変わる社会環境に対応できるようご協力をお願いします。

福山 かおり 藏前 彰吾

ピーシーデポ スマートライフ鹿児島店 | ピーシーデポ スマートライフ鹿児島店



ピーシーデポ スマートライフ鹿児島店 H様ご家族

私はパソコンに詳しくなくて、ちょうど息子のeスポーツに必要な機器を探していたときに、ママ友から今のデジタル担当の方を紹介してもらいました。息子はeスポーツを始めてから、年齢の違う人たちとの交流や学校以外でのコミュニティも広がっています。eスポーツが瞬時に判断する力やわからないことを自分で調べて解決する力など、これからの子どもに必要な力をはぐくんでくれています。

年齢は関係ない。「好き」は
自主性や探究心をはぐくむ



Members' VOICE

知らないと損することも教えてもらえるから、相談しやすい

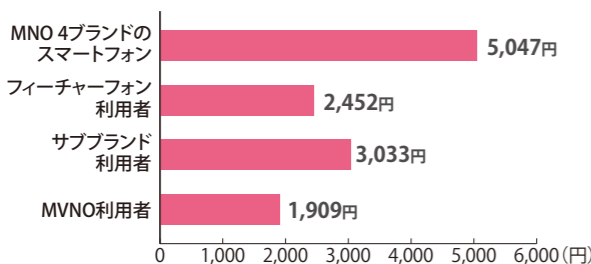
ピーシーデポ
スマートライフ港北店 N様、T様ご姉妹

昔は大手キャリアのユーザーでした。特典として有料アプリが1カ月無料でしたが、解約方法を教えてもらえなかったことを覚えています。そもそも必要のないものはいらないので、デジタルライフプランナーは購入したところから以降もお付き合いがあり、いつも分からないところを理解してもらえるので安心です。



DATA 携帯電話の平均月額利用料金(2023年7月)

スマートフォンの月額利用料金は4,317円と低廉化が進行し、2020年12月時点との比較では1,017円減少となった。



出典:MM総研「携帯電話の月額利用料金とサービス利用実態(2023年7月調査)」

デジタルライフプランナーより

私たちデジタルライフプランナーは、会員様のくらしが豊かになるようくらしに寄り添い、くらしを止めないお付き合いをさせていただいております。デジタルライフプランナーと共にデジタルを当たり前にしたくらしの普及にご協力をお願いします。

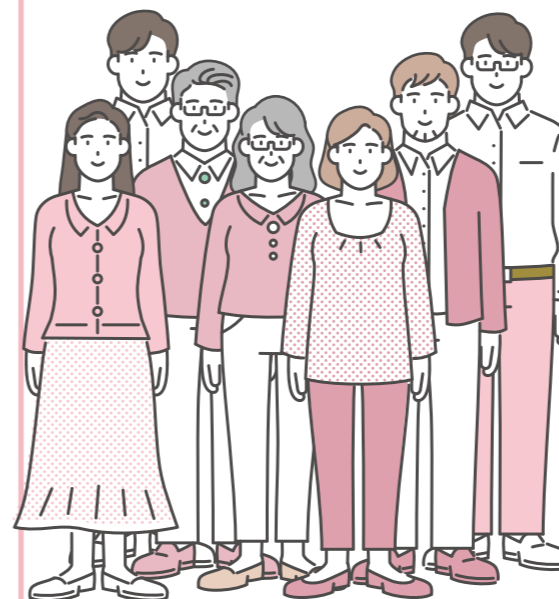
中川 寛子
社長秘書委員 港北地区職業普及担当
ピーシーデポ スマートライフ港北店



Members' VOICE

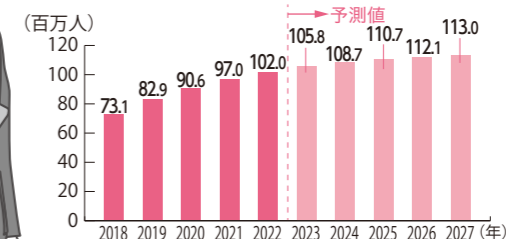
ピーシーデポ
スマートライフ盛岡本店 A様ご家族

普段は盛岡、新潟、千葉、沖縄、仙台に離れて暮らす家族が、長男の音楽イベントへの登壇によってみんなが揃いました。普段のやり取りはスマートフォン。おばあちゃんはガラケーから家族が使っていたスマホを2年前にお下がりました。私のデジタル苦手は変わりませんが、家族のグループSNSで近況や写真が届くので、一緒に集まる理由が増えました。集まったときには、家族で撮った写真を家族のグループSNSで共有することができ、家族も喜んでます。



DATA ソーシャルメディアサイトやアプリケーションを月1回以上利用する人の数(アカウントの有無は問わない)

2022年、日本のソーシャルメディア利用者数は、1億200万人。世界のSNS利用者は2022年の45億9,000万人から2028年には60億3,000万人に増加すると予測されており、日本では2022年の1億200万人から2027年には1億1,300万人に増加すると予測されている。



出典:総務省「令和5年版 情報通信白書」

デジタルライフプランナーより

お客様の立場に立った、デジタルを通してくらしの豊かさ実現のバランスを考え、焦らず、無理せず、少しずつをモットーにお客様のくらしに伴走しています。デジタル担当がいる豊かなくらしの普及にご協力をお願いします。

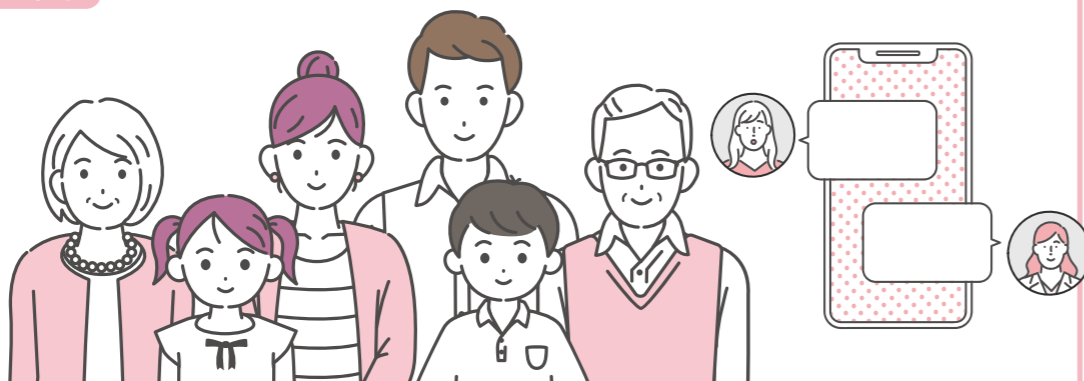
工藤 博也
ピーシーデポ スマートライフ盛岡本店



久しぶりに家族全員揃うきっかけは、日頃のグループSNSでのやりとりから

Members' VOICE

SNSで簡単に家族イベントの思い出が



ピーシーデポ
スマートライフ市原インター店 T様ご家族

娘一家と同じ地域に3世代で暮らしていて、孫と一緒に時間を過ごすことが大切な時間となっています。娘と息子一家とのグループSNSで、家族旅行の出発前までの段取りを共有し、訪問先の写真もためています。家族とのその時だけの思い出を残し、いつでも楽しんでいます。最近では、地域での友人ともSNSやPCデポの店舗(コミュニティベース)に集まって楽しんでいます。



デジタルライフプランナーより

3年前からデジタル担当として伴走しています。自分の父親や母親に薦めて喜んでもらったことを提案したりしています。デジタルライフプランナーと共に、世代を超えたデジタルを使ったくらしの普及にご協力をお願いします。

内山 健司
ピーシーデポ
スマートライフ市原インター店

Members' VOICE

ピーシーデポ
スマートライフみなとみらい店 H様親子

旅で撮った写真はiPadでお友達に見せていたのですが、整理ができてなくて目的の写真を見せられず悔しい思いをしたことも。でも、担当の人に教わった写真整理のおかげで今ではスイスイ。友達との会話も弾みます。そんな私の変化を見て、友達も担当を紹介してほしいと。今ではその友達も同じ担当にお世話になっています。

デジタルライフプランナーより

自分ではよくわからない、くらしの中にあるデジタルが、担当がいることで少しずつわかるようになると、交友関係も盛り上がり。担当がいる楽しく豊かなくらしの普及にご協力をお願いします。

眞壁 美恵
ピーシーデポ
スマートライフみなとみらい店



旅の思い出を娘や友人たちと一緒に見るのが楽しみ。
“旅の輪”が広がっています!



Environment

[環境]



フォトコンテスト 優秀作品より

100万ドルの夜景には相当の電力が必要

各地域にある夜景の名所は、高度成長期、煌々と電気がついていることが一つのステータスとして認められ、それが貴重な景色となっていました。

気候変動対応や再生可能エネルギー利用が普及しようとしている現在、景色の美しさの感じ方も変わっていくのかもしれない。

「おばあちゃんに見せてあげたい」

撮影者 井上 大輝 ピーシーデポ スマートライフ越谷店

この写真は、私が友人と旅行中に岡山にある工場夜景を撮影したものです。私の祖母は旅行が好きで、よく旅先で撮った写真を私に見せてくれました。そんな祖母は、今は体調を崩して入院しています。デジタル苦手な祖母でしたが、遠く離れて暮らす私と連絡をとるために、スマホデビューをしました。私も最近、祖母に旅行先の写真を送ることが旅行の一部となっています。祖母が元気になったら、今度は一緒に祖母のスマホを使って思い出の写真を撮りに旅行に出かけたいです。「早く元気になってね、おばあちゃん」

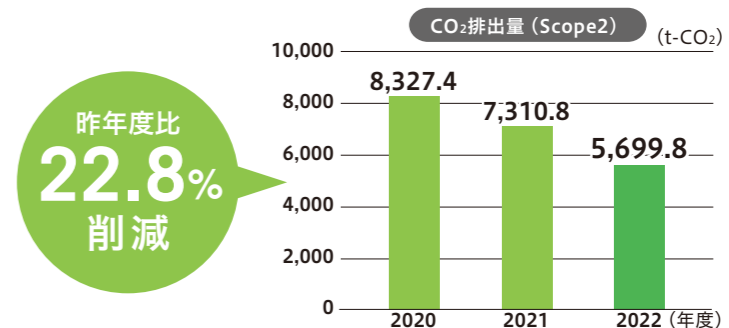


PCデポが取り組む環境対策

業態変更による環境への対応

PCデポは、現在、小売流通ビジネスからサブスクリプション型会員ビジネスにビジネスモデルを変換しています。現在の会員様との接点となっている店舗事業では店舗運営に伴う相当の電気使用を行う業態から、より電気使用量が少ないビジネスモデルへと業態を変えようとしています。また、会員様のご家族内でのスマートフォンやPC再利用(お下がり、お上がり)によって、大量生産・大量消費によらない、循環型の社会実現に向けた貢献をしています。

2022年度の当社のCO₂排出量は、5,699.8t-CO₂となり、2021年度の7,310.8t-CO₂に比べ22.8%削減しました。売上高原単位ベースでは、0.188t-CO₂/百万円となり、昨年度の0.21t-CO₂/百万円から低減しています。



気候変動に対するリスクと機会

近年の自然災害の規模拡大・頻発化(100年に一度の洪水の頻発など)を考慮すると、大型での自然災害によって店舗操業は大きな影響を受ける可能性が高まっています。自治体のハザードマップを確認し、水害などの被害が起こると事業に大きな影響を及ぼす店舗を特定して、対策しています。

小売流通ビジネスから会員ビジネスに変換することで、顧客会員様に対し、すでに利用しているデジタル機器を世代を跨いで利用し、リサイクルを可能にしたり、より低環境負荷製品を提供することで、利用時のCO₂排出量を抑えつつ、顧客の信頼とサービスの提供につなげていくことを可能とします。

新会員施設CLUB HOUSEが、所沢と川越に開設しました。会員様向け施設(ベース)となり、利便性がよく、関係者が集まりやすい場所として、さまざまな情報発信、イベント開催、そして会員間やパートナー企業様とのコラボレーションの可能性を拡げます。

Members' VOICE

ゲラチエックに電子タブレットを利用することで無駄な紙利用を削減



ピーシーデポ スマートライフ調布仙川店 | 様

以前は原稿執筆や校正を紙に手書きで行っていました。担当のデジタルライフプランナーと出会ってからはiPadの画面にペンでできるようになって仕事も捗り大満足です。大量の紙を消費しないので、エコなのうれしいです。

デジタルライフプランナーより

仕事やくらしのなかのアナログがデジタルに置き換わることで、仕事がどこでもパッとできるようになり、紙の消費も無くエコになります。サステナブルな社会の実現にご協力をお願いします。

山本 皇

ピーシーデポ スマートライフ調布仙川店



Education

[教育]



研修風景での1コマ

デジタルネイティブならではの考え方を活かす

PCデポは、4月の新入社員研修はじめ、デジタルライフプランナーがプロフェッショナルなマインドを持って会員様と接することを可能にするカンファレンス(研修)、大学生参加のワークショップ、秋の秋フェス開催など、多様な「学び」「デジタルライフプランナーの研鑽の場」を提供しています。

そして、全国のデジタルライフプランナーが参加する全国DLP会議において、デジタルライフプランナーの今後の方向性を決議しています。

人的資本型ビジネス積極投資～自立実習研修01

約3カ月の新入社員研修と実地研修

新入社員研修

期 間 2023年4月12～15日

開催概要 23年4月入社81名が宿泊を伴う研修を実施。デジタルライフプランナー®とは。その役割、意義を考え、関係人口を拡大するための考え方を学ぶ

2023年4月、81名の新入社員が入社し、DLPとして活躍できるように研修を受けました。今年の新入社員研修では、DLPとしてのさまざまな知っておくべきことについて研修を受けながら、昨年同様来年の入社案内用動画を作成しました。その後、約3カ月間にわたりさまざまな地域Baseで実地研修を6月末まで受け、本配属となったエリアでの活動を始めています。



30期予定者×稼ぐプランナー



30期予定者



30期新卒入社式



研修後、店舗の人と実践中

新入社員の思いと取り組み

戦略的な考え方が好きで、前向きに取り組んでいます



岡野 亜海

ピーシーデポスマートライフ 辻堂店

学生時代はバスケットボール部の部長、焼肉屋でのアルバイト経験を通じて人と話すことが好きでした。就職活動していく中で、人を大切にする会社で働きたいと思い、豊かなくらしを実現できるお手伝いができるデジタルライフプランナーの職業に興味を持ち、当社に入社しました。PCの知識はなかったのですが、人と話すスキルがあればできると実感しています。会員様と一緒に写真のアルバムを作成し、コミュニケーションを通じて楽しさと学びがあります。

今後は興味をたくさん広げて、会員様とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。

一番面白いデジタルライフプランナーを目指しています



遠藤 幸成

ピーシーデポスマートライフ 神橋店

幼少期から人を笑顔にすることが好きで、家族や友人を幸せにすることが私の幸せです。入社してから常に新しいことに挑戦し、やりがいと楽しさを感じています。当社での環境は自由度が高く、失敗を乗り越えて日々成長していると思います。最近、お客様と共通の価値を見つけ、デジタル挑戦の第一歩を踏み出すお手伝いをしています。会員様になっていなければ、iPhoneデビューも電子決済もしていなかったお客様もいます。

将来の目標は、お客様との信頼を人柄で掴める一番面白いデジタルライフプランナーを目指して頑張っていきます。

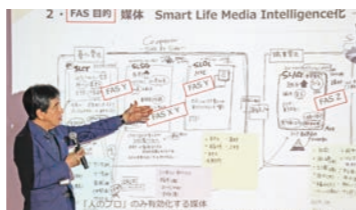
人的資本型モデルが目的～研修02

プロフェッショナルを目指して

Conference 春

- 開催日時 2023年5月24～25日
FASカンファレンス 2023年7月12日
- 参加者 全国のデジタルライフプランナー®、遠隔地からはオンライン参加
- 開催概要 個々の力を活かせるように、デジタルライフプランナーの活動内容や日々の実践事例を共有

プロフェッショナルなデジタルライフプランナーとして、「くらしが豊かな関係人口の増大」を実現するための計画づくりから会員様との接し方まで、全般的な研修が行われました。



野島社長による関係人口拡大の講演



Inter FMの公開収録



プランナーにとってのネットワーキングの場



座学とワークショップのハイブリッド研修

人的資本型モデルが目的～研修03

職業普及を目指します

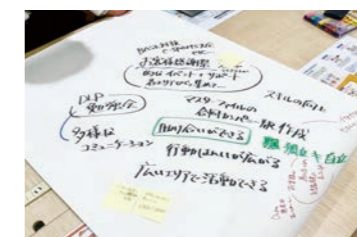
職業普及 資格化決起会 越谷

- 開催日時 2023年11月8日
- 参加者 職業普及を目指すデジタルライフプランナー®30名
- 開催概要 デジタルライフプランナーという職業を普及するための戦略会議

埼玉東エリアでは、他のエリアに先駆け職業普及委員会を中心にデジタルライフプランナー資格化決起会を開催。デジタルライフプランナーという職業を普及するため、何を具体的に実施するかを協議し、実践していこうとしています。



ディスカッションの様子



合計5つの班に分かれて協議



班ごとに発表

PCデポでは、「モノからヒトへのビジネスモデル変革」を掲げ、ビジネスモデルの転換を実現し、会員様の生活を豊かにするデジタルライフプランナー育成を目指して、年間を通じて多くの研修機会を提供しています。



有資格者としての意義や責任

Conference 秋

- 開催日時 2023年11月1日
- 参加者 全国のデジタルライフプランナー®、遠隔地からはオンライン参加
- 開催概要 デジタルライフプランナー資格の概要についてや今後の有資格者としての意義や責任を共有

秋カンファレンスでは、準備中の「デジタルライフプランナー資格」について共通認識が持てるようにするとともに、来年以降、有資格者となることで、くらしに伴走し、普及していくための意義や義務について研修を行いました。



横濱Key Stationがプランナーで埋まります



前向きで、活発な意見交換が繰り返されます



18階フロア全体を使って研修を受けます



座学とワークショップのハイブリッド研修

大学生と考えるDLPの職業普及

4大学交流会

- 開催日時 2023年9月9日
- 参加者 桜美林大学、帝京大学、二松学舎大学、明星大学の学生合計60名
- 開催概要 デジタルライフプランナー®の役割及びその職業普及についてチームで研究しその成果を発表

4大学60名がチームに分かれて2つの課題に挑戦しました。一つは記事を通してDLP職業普及ができるような記事の制作を会員様ご家族に取材して作成する。もう一つは、DLP資格制度ができるなか、会員様の豊かなくらしを実現しつつ収益化(ビジネス化)するにはどうしたらよいかチームで考え、発表しました。



60名の参加者がチームに分かれ切磋琢磨しました



各大学の担当教官によるディスカッション



各チームの発表と審査の様子

人的資本型モデルが目的～研修04

DLP資格制度各Chapterの協議

秋フェスティバル

- 開催日時 2023年10月4～7日
- 参加者 各拠点から推薦されたデジタルライフプランナー® 131名
- 開催概要 デジタルライフプランナー資格取得に向けた各Chapterの内容についてディスカッション

デジタルライフプランナー資格制度における各Chapterについて、チームを分けてその内容や運営方法について協議し、ファイルにまとめました。4日間の濃密な議論により、資格制度の理解を深めるとともに、DLPの在り方についても再確認する場となりました。



DLP資格の全体像について共有



各Chapter毎にコンセプトや運営について協議



デジタル機器、ホワイトボードもフル活用

全DLP参加による「目指す姿」の共有

第5回 全国DLP会議

- 開催日時 第5回：2023年11月1日
- 参加者 全国のデジタルライフプランナー®、遠隔地からはオンライン参加
- 開催概要 全国会議では、全デジタルライフプランナー参加のもと、業務目的や実質的な活動方針、そして経営上でのポイントについて承認



会場に参加したプランナー同士の交流

第4回会議で承認を得た、事業目的「永続的な関係性の永続的な人口増幅、豊かなくらし方永続的な普及活動(FAS循環)とする」ことを実現するため、デジタルライフプランナーの実践的な取り組み例を共有しています。また、第5回会議では、2023年末から始動する「デジタルライフプランナー資格」について、そして「人的資本に集中的投資する」ことについて、可決されました。



基礎議案についての説明と決議の様子



同期や是非会いたかったプランナーとも交流



会員様への提案について、野島社長に相談

Providing
five values
5つの価値提供

04

Entertainment

[楽しさ]



インサイトミーティングでの1コマ

クリエイティブ思考で、
媒体を通じて思いを伝えます

軽井沢にある研修施設では、多くのメディア、店舗設計、事業計画検討など、デジタルライフプランナーの活動を支える基盤づくりの協議が行われています。

東京から離れ、考えられる素材が見える化して、クリエイティブ活動で重要な「Out of the Box: 既成概念から離れ、新しい考え方で考える」を実践し、斬新なアイデアを生み出していきます。

人的資本はデジタル空間でも多種多様なデジタル

ej works

タッチポイントを展開

進化を続ける創造性 ～グループ会社の取り組み

人とテクノロジーをつなぐ 「ソリューションデザイン」

イージェワークスは人を中心にして、テクノロジーをどう使い生活を豊かにしていくかを皆様にご提案しているIT企業です。PCデポのグループ会社として、人に寄り添った最新技術を身近なものとして活用いただくために、デジタルありきではなく、リアルなコトを入口としたサービスで楽しく便利なデジタル生活をご提供しています。

例えば、インターネット上に仮想空間をつくり、自身のアバター（分身）が生活を送ることができるメタバース。メタバースという言葉だけが先行するなか、当社では、仮想空間からではなく実態のあるジオラマが



株式会社イージェワークス
代表取締役社長 枝松 徹

入口になることで興味を持っていただけるのではないかと元々3Dデジタルデータで描いた江の島をあえて、アナログのジオラマに変換して展示することで「難しくよくわからない世界」を見慣れた、親しみのある形にすることで楽しさや便利さを理解いただけていると思います。メタバース体験もシンプルに、ジオラマにスマホをかざすことでメタバースに入ることができます。

また、ご来社いただいた方は、スマホで撮影させてもらいご自身の3Dデータを仮想空間上でアバター化させて登場してもらっています。今後はアバター同士のコミュニケーションも楽しめるようにしたいと思っています。また、その3Dデータを使って、フィギュア化しジオラマに設置し、リアルでもヴァーチャルでも楽しめるものとなっております。



NFTを活用した地域活性化 モデル「SHONAN NFT」

また、2022年から始めた「SHONAN NFTアートコンテスト」は、NFT (Non-Fungible Token、非代替性トークン)が主役ではなく、「人が集まる」「地域の活性化」を中心にその地域の良さ、思い出を写真や動画、イラストを発信する場所を提供することで人々が集いたくすることを旨としたコンテストです。



SHONAN NFTアートコンテスト

NFTを活用した SDGsへの取り組み



2022年より藤沢市が後援として参画し、受賞作品の写真やイラストなどが藤沢市のふるさと納税返礼品となっています。加えて地元企業7社からもご協賛いただけるイベントとなりました。本コンテストは、地域の皆様や地元企業、自治体など多くの方々から支持をいただくことで認知度が上がり、結果、地域創生でのNFTの活用の事例を創ることができました。

同時に「海の豊かさを守ろうプロジェクト」では、NFT化したアート作品をTシャツにして、チャリティーTシャツとして販売を行い、購入額の一部をかながわ海岸美化財団に寄付し、感謝状をいただきました。NFTに理解があってもなくても、購入を通じて社会課題解決につながるという価値を提供することで、身近なSDGs課題にも興味を持っていただくきっかけとなっています。

今後も最新技術をリアルと連動させ活用していきたいと考えており、進化し続けるテクノロジーを人々がどう使うかにこだわったサービスを提供し続けます。



NFT×SDGs
海の豊かさを守ろうプロジェクト



フィギュア化してジオラマに設置

会員・新会員
向け

スマートライフみなとみらい店併設 eスポーツ教室開校



あの人気
esports タイトルも採用!

VALORANT / FORTNITE

League of Legends

体験会、イベントも随時開催中!

現役プロゲーマーに直接相談できる
進路相談会や、大会など、
今までにないコンテンツも用意しています。
詳しくは公式LINEをチェックして
最新の情報をGET!



VASE
produced by VARREL

横浜で esports を学べる
コミュニティスペース

VASEは、esportsの世界で
最高品質のグラフィックや音響、
高速かつ安定したネットワーク接続を提供し、
プロ仕様の最新のゲーミング機器や
周辺機器を用意しています。



apaMEN

(本名:小田 桐稜)

国内最高峰のプロリーグ、「LJL」
で8年にわたり第一線で活躍。現
在は、VARRELのスタッフとして
従事する傍ら、試合解説やコー
チとしても活動。8月よりVASEの
LoL講師も兼業。

「ゲームが上手になると、現実世界の色々な問題もクリア
できるようになる。」そう聞いたら驚きますか?でも考えてみ
れば、それは当たり前のことなんです。自分の能力の長所と
短所を見つけ、課題の性質を分析し、最適な答えを生み出
す方法を学ぶのに、ゲームほど最高の教材はありません。
ぜひ、VASEで新たな可能性を一緒に発見しませんか?



株式会社 VARREL
代表取締役
鈴木 文雄

Corporate
Governance

コーポレート・
ガバナンス

Governance

[コーポレート・ガバナンス]



会議室での1コマ

PCデポのガバナンス・リスク・コンプライアンス

デジタルライフプランナーは会員様やご家族の大切な情報を取り扱うため、PCデポは
会員様本位を軸とし、道徳観や倫理観を持てる人材を育成することに注力しています。組
織のガバナンス強化、リスク管理、コンプライアンス遵守を重要項目に据え、社外取締役
の専門的知見も組織の監督機能に折り込みながら、デジタルライフプランナーの活動を
見守り、組織を監督しています。

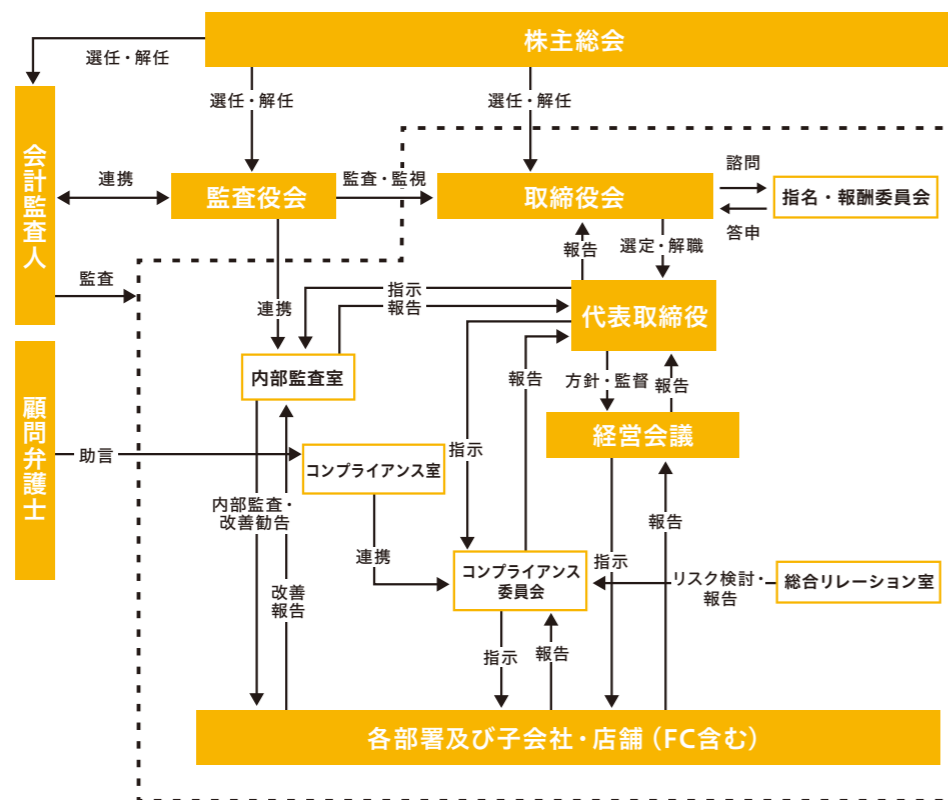
コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの概要

当社は、透明性が高く健全で公正な経営を維持するため、取締役会の監督機能強化を図りながら迅速な経営を推進し、コーポレート・ガバナンスの強化を図っております。その充実のため、適時・適切な情報開示による経営の透明性の確保並びに統制環境の強化を重視しており、今後もコーポレート・ガバナンス体制を随時見直し、企業価値の向上を目指してまいります。

当社は、監査役会制度を採用するとともに社外取締役並びに社外監査役を招聘することにより客観的な経営監視体制の確保をしています。

【コーポレート・ガバナンス体制】



■ 取締役会

取締役会は、原則月1回の定例取締役会を開催し、必要に応じて臨時取締役会等を開催しており、取締役会の決定に基づく職務執行については業務分掌規程等においてそれぞれの責任、執行について定めております。取締役会は、社外取締役増田由美子を議長とし、社外取締役2名を含む5名で構成されています。また監査役4名が出席し、取締役の業務執行を監督する体制となっています。

■ 監査役会

監査役会は、常勤監査役の浅山隆嗣を議長とし、常勤監査役1名、非常勤監査役3名で構成されています。監査役は、取締役の職務執行状況を監視し、会社全体の業務執行の適法性について確認及び財産の状況調査などを実施しています。

■ 経営会議

意思決定の迅速化のために、経営会議を必要に応じて開催し、関係部署からの報告に基づいて情報を共有し、十分な議論の上、業務に関する重要な意思決定等を行っております。議長は代表取締役社長執行役員野島隆久が務め、2名の取締役と7名の執行役員によって構成されています。

委員会活動

■ コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会は、原則月1回の定例会を開催しコンプライアンス室と連携を図り、必要に応じ法令や報告されたリスクを検討し、対策を講じております。

■ 指名・報酬委員会

3名以上の取締役などで構成し、うち過半数は社外取締役とする取締役の諮問機関の「指名・報酬委員会」は、取締役等の指名及び報酬などについて審議することにより、社外役員の知見及び助言を活かすとともに、取締役等の指名及び報酬等の決定に関する手続きの客観性及び透明性を確保し、取締役会の監督機能を向上させ、コーポレート・ガバナンス機能の更なる充実を図ります。

社外役員

取締役4名のうち社外取締役2名、監査役4名のうち社外監査役3名の体制であり、かつ社外役員のうち5名を独立役員とする体制により、コーポレート・ガバナンスの強化を図るとともに、一般株主の利益保護に努めております。

コーポレートガバナンス・コード(原則4-9)及び独立性基準を踏まえ、独立社外役員及び独立社外監査役の独立性を担保するために「独立社外役員の独立性判断基準」を定め、それを満たしています。

内部統制システムの構築に関する取締役会決議の概要

当社は、取締役並びに従業員が法令・定款等を遵守することの徹底を図るとともに、リスク管理体制の強化にも取り組む等、内部統制システムの充実にも努めます。月1回開催の取締役会では、法令遵守の観点から取締役の「心得」の確認、執行役員・従業員は半年ごとに「誓約書」への署名押印を行い、コンプライアンス並びに職務倫理を再確認するとともに、必要な教育・研修を実施します。

定期的開催する「リスクマネジメント委員会」にて、当社グループに及ぼす影響の大小や緊急性によりリスクレベルの格付を行い、それぞれのレベルに応じた予防策を講じます。また、「コンプライアンス委員会」にて、当社が適法な事業活動を行うための予防策を講じます。

当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

● 内部監査・内部統制部門

子会社を含むグループ全社の統制環境の構築整備/運用の推進を図り、組織横断的な統制機能の主管を果たします。また、部署別実地監査・店舗実地監査を定期実施します。監査結果については、代表取締役並びに監査役へ定期報告を行います。また、被監査部門に通知し再発防止策とその実施報告を受けます。なお、内容等については社内規程に随時反映し、再発防止につなげます。

● 内部相談窓口・内部通報窓口・弁護士直通ダイヤル

相互牽制により、自浄作用が活かされる仕組みとして運用します。当社は、「内部通報規程」において、当該報告をしたことを理由として、当該報告者に対して、不当な取り扱いを行うことを禁止します。

当社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社では、定例の取締役会を原則月1回開催し、重要事項の決定及び各取締役の業務執行状況の監督を行うとともに、業務執行上の責任を明確にするため、取締役の任期を1年と定めます。

また、取締役会の決定に基づく職務執行については、業務分掌規程等において、それぞれの責任、執行手続きの詳細について定めます。

取締役会の実効性評価

当社は、取締役会の役割・機能・規模・構成・運営等、取締役会全体の実効性を評価し、取締役会で審議した上で、その結果の概要を開示するとともに取締役会の運営改善に活用いたします。

2021年度に実施された取締役会の実効性評価の概要は、2022年3月時点の現任すべての取締役(8名)及び監査役(4名)に対しアンケートを実施。取締役会での審議を踏まえ、概ね実効性のある取締役会の運営がなされていることが確認されました。一方で、後継者計画や取締役会の議事運営等の改善が、課題として認識されました。

役員の報酬制度

当社は、取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。本方針は、過半数を社外取締役から、委員長を社外取締役から選任する指名・報酬委員会にて、審議しています。取締役の個人別の報酬額については、役位、担当職務、各期の業績、貢献度等に応じて、他社水準、経営環境も踏まえ、指名・報酬委員会が審議・決定しています。

■ 報酬決定の基本方針

当社の取締役の報酬等は、金銭による固定報酬としての基本報酬、業績連動報酬等と、非金銭報酬等とし、担当領域の規模・責任に応じた適正水準とすることを方針としております。

【役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数】

役員区分	報酬等の総額(百万円)	報酬等の種類別の額(百万円)			対象となる役員の員数(人)
		基本報酬	業績連動報酬	譲渡制限付株式報酬	
取締役(社外取締役を除く)	96	57	35	14	6
監査役(社外取締役を除く)	11	11	—	—	1
社外役員	25	25	—	—	7

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
 2. 業績連動報酬等の額の算定の基礎として参考にした業績指標の内容は、経常利益、売上高経常利益率、自己資本利益率、時価総額であり、当該指標を選定した理由は、足元の会社拡大の指標及び中期目標としているためです。
 3. 業績連動報酬等の額は、業績指標をもとに、役員報酬内規で定めている、「将来の人材採用、活躍の結果」「将来の会社成長の結果」「職務を通じた結果」の各テーブルを参考に決定しております。
 4. 非金銭報酬等として取締役に対して譲渡制限付株式を交付しております。

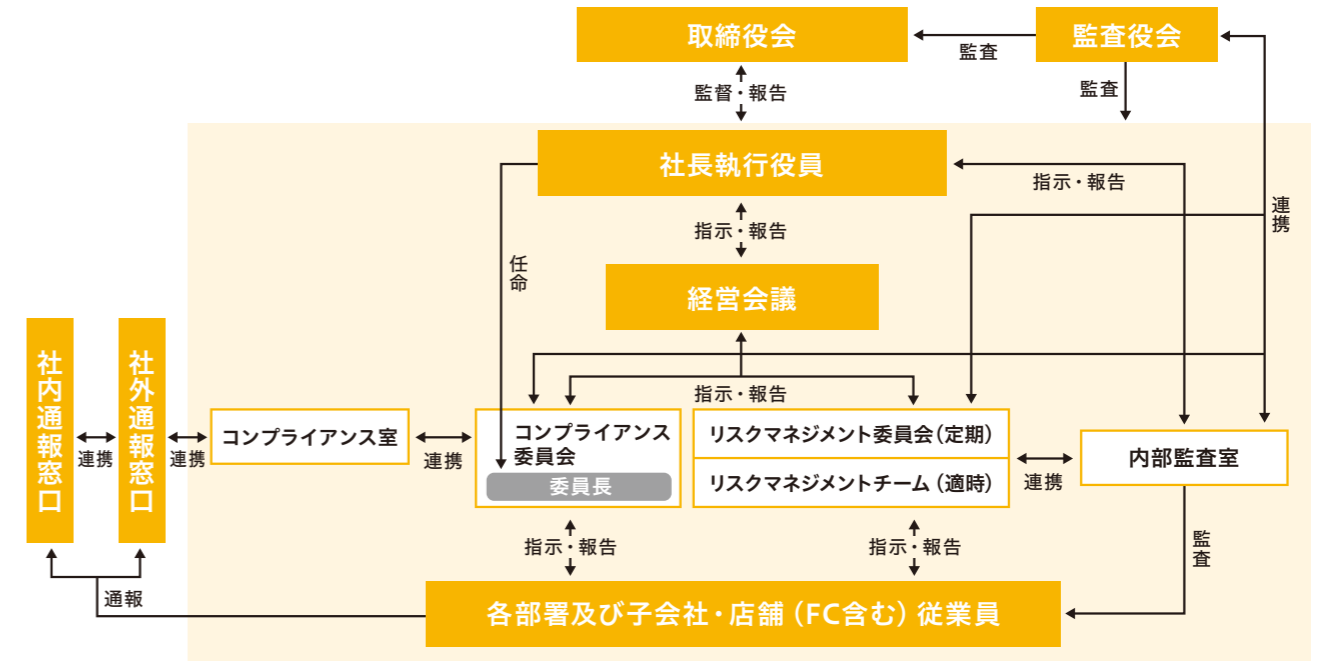
リスクマネジメント

事業等でのリスク

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重大な影響を与える可能性がある当社が認識している主要なリスクは、次のとおりです。当社グループではリスク発生の可能性を十分認識し、リスク発生を極力回避し、万が一発生した場合には損害を最小限にとどめるべく的確な対応に努めます。

当社のリスク管理体制は、総合リレーション室が社内外におけるリスクの検討を行い、当社に及ぼす影響の大小や緊急性によりリスクレベルの格付に基づき、コンプライアンス委員会に報告をしています。必要に応じて「リスクマネジメントチーム」を組成し、それぞれのレベルに応じた予防対策を講じています。

【リスクマネジメント体制】



事業などでの主要なリスク	リスクの詳細
事業環境におけるリスク	競合他社が当社の知的財産権を侵害し類似競争をする場合や、侵害をしなくとも類似ビジネスを行うことで競争が激化した場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす。
	サービス商品の開発や提供の遅れ、あるいは提供後に関連コンテンツの販売中止や終了等、また当社のサービスの提供システムの障害などによりサービスの提供が困難となり、会員流出が急激に増加した場合は、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす。
	新規出店、閉店、賃貸物件の賃貸人が破産・倒産した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす。
	将来において予期せぬ法規制の制定や改正、行政等の指導方針変更や自主規制が求められた場合には、出店及び店舗営業の調整・遅延や新たな対応コストの発生、事業活動の制限等により、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす。
サプライチェーン(事業環境、取引先に起因するリスク)	想像を上回る地震・台風・洪水・津波・汚染などの自然災害、火災や停電、電力不足による計画停電、インフラの途絶等により店舗営業に支障が生じた場合、売上高の減少、費用の発生、事業継続面で、事業に影響を及ぼす。
	製造元との取引関係により販売可能商品が限定されるなど、取扱商品の範囲が減少する場合、又は製造元のサプライチェーンなどの停滞による商品入荷の遅れなどによる場合、商品販売の減少に加え、商品に付帯する会員加入、技術サポート・サービス等の販売機会の損失につながる。
情報セキュリティ(システムトラブル、個人情報保護)	特定の取引先、商品への依存が高まると、該当商品の取り扱いの可否、あるいは取り扱いの安定供給等、製造元の方針の変更によって、当社の人気商品の仕入れに影響を与え、お客様の需要に充分に応えられず、当社グループの業績に影響を及ぼす。
	地震などの自然災害、停電等のインフラの途絶、ハードウェア・ソフトウェアの不具合、アクセス集中による負荷、コンピューターウイルスの感染や外部からの攻撃、システムデータの喪失等によりシステム障害が発生した場合には、店舗オペレーション業務の中断、プレミアムメンバーシップをはじめとするサービス商品の提供中断、課金の停止や未回収等が生じる可能性がある。
経営体制におけるリスク	当社グループ関係者などの故意又は過失や、システムの不正アクセス、コンピューターウイルス感染等の不測の事態により、個人情報外部に流出したり悪用されたりすると、当社グループが損害賠償責任等を負う可能性や当社グループの信頼性が著しく低下することにより、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性がある。
	人材の質の向上、量の確保、並びに今後の社会の多様化に対応した人材の確保が計画通りに進まず、適正な人材配置が困難となった場合、競争力の低下や一層の業容拡大の制約要因となる場合がある。
	当社グループ全体のブランドイメージが低下した場合、それによる当社グループに対する信頼低下、人材の流出、人材確保の困難等により、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす。
	規模の大きな会社により買収されるリスク、デジタルに重きを置いた社会構造の変化の進行により、異業種による買収リスクも想定され、その場合には、当社グループの事業及び業績に影響を与える。

コーポレート・ガバナンス

役員紹介

代表取締役社長執行役員

野島 隆久

取締役会出席率：93% (13回/14回)

選任理由

当社創業者であり、代表取締役として27年にわたり当社グループ経営を指揮し、他に類をみない革新的なビジネスモデル「サブスクリプション型プレミアムメンバー」を確立。グループ全体の更なる発展、及び改革に向け、既成概念にとらわれず強いリーダーシップを発揮している。

取締役専務執行役員

齋藤 秀樹

取締役会出席率：100% (14回/14回)

選任理由

マーチャンダイジングに関する幅広い知見を有しており、店舗運営及びマーケティングに関する責任者として、サブスクリプション型「プレミアムメンバー」の価値最大化及び営業力強化、人材育成が期待でき、カスタマーサクセスを実現できる人材と判断した。

独立社外取締役

増田由美子

取締役会出席率：100% (14回/14回)

選任理由

顧客対応の豊富な経験をもとに、消費者生活アドバイザーの資格を有した消費者・顧客志向経営及び顧客接点分野の専門家であり、当社が今後お客様の「デジタルライフの計画提案」を行っていく上で、より適切なガバナンスが得られると同時に経営の透明性を高めることができる人材と判断した。

独立社外取締役

馬越恵美子

取締役会出席率：100% (10回/10回)

選任理由

パーパス経営を進めていく上で、広範な知識・経験をもとに、独立した立場からの監督・助言により、当社取締役会の監督機能と意思決定機能の強化が期待できる。

常勤監査役

浅山 隆嗣

監査役会出席率：100% (14回/14回)

選任理由

前職において、経営企画管理の統括及び執行責任を歴任し、経営全般に関して幅広く相当程度の知見と経験を有している。

独立社外監査役

野口 誉成

監査役会出席率：100% (14回/14回)

選任理由

内外の企業において、内部統制・監査業務に長年にわたり携わり、コーポレート・ガバナンスの専門家として相当程度の知見と経験を有している。

独立社外監査役 公認会計士

玉井 哲史

監査役会出席率：100% (14回/14回)

選任理由

公認会計士資格を有し、財務及び会計分野の専門家として相当程度の知見と経験を有している。

独立社外監査役 弁護士

加藤 佑子

監査役会出席率：-% (-回/-回)

選任理由

弁護士として、企業法務のみならず人事労務分野にも幅広い専門知識と実務経験を有し、取締役会の意思決定への助言、監査体制の法務面での強化、ならびに当社のガバナンス、内部統制への実効的な監査が期待できる。

取締役・監査役スキルマトリックス

役員	役職	管掌・担当	人創り	経営	営業 マーケティング	IT DX	財務会計 内部統制	法務 ガバナンス
野島 隆久	代表取締役社長執行役員	最高経営責任者、サステナブルデザイン担当	○	○	○	○		
齋藤 秀樹	取締役専務執行役員	ストア部門統括、ストア構造再構築担当	○		○			
増田由美子	独立社外取締役	—	○	○		○		
馬越恵美子	独立社外取締役	—	○	○		○		
浅山 隆嗣	常勤監査役	—		○				○
野口 誉成	独立社外監査役	—				○	○	○
玉井 哲史	独立社外監査役	—				○	○	
加藤 佑子	独立社外監査役	—						○

執行役員

2023年7月1日現在

代表取締役社長執行役員

野島 隆久

グループ経営最高責任者 (CEO 若者の職業普及担当)、チーフデザイナー (CDO)、エンゲージメントデザイナー (EDO)、会員事業ストラクチャー担当

取締役専務執行役員

齋藤 秀樹

ストア事業統括本部長
ストア事業統括 (COO ご家族のくらしを止めない担当)、ストア構造再構築担当

上級執行役員

島野 孝之

ストア生産本部長
ストア事業 青梅地区長、MD (媒体) グループ代表

執行役員

篠崎 和也

経理・財務本部 担当

執行役員

青木 正一

ストア事業 小田原地区長、プランナー 倫理・品質グループ 代表

執行役員

西條 寛

ストア事業 港北・新横浜地区長、首都圏生産グループ 代表

執行役員

佐藤 清人

Key Station ストア 上席店長、ピヨンドストア・地域連携部長

執行役員

樋口 一成

ストア事業 横須賀・三浦地区長

執行役員

松尾 裕子

総務グループ 代表

【執行役員制度の導入】 当社は、迅速な業務執行と経営責任を明確にするため、執行役員制度を採用しております。執行役員は、経営会議に出席し、経営上の意思決定を迅速に執行し、その執行状況を報告する役割を担っています。

各種店舗形態



ピーシーデポスマートライフ店

IT機器に関するお客様のご不便をおうかがいすることに特化した店舗として、2013年より展開。デジタルが苦手という方にも気軽にお立ち寄りいただき、腰を落ち着けてご相談いただきたいという思いから、ラウンジスペースを広くとり、内装も白とオレンジを基調とした温かみのあるものを採用しています。



PC DEPOT

創業時から続く店舗で、パソコン、タブレット、スマートフォンをはじめとする幅広い商品をラインナップ。丁寧で分かりやすいサポートも充実しており、パソコン上級者から初心者まで、あらゆるニーズに柔軟に対応しています。



PC DEPOT パソコンクリニック

IT機器の故障やウイルス感染、データ破損などの不具合や、各種設定におけるトラブルの解決を目的とした修理総合窓口です。現在はケースデンキ内にインショップ出店しており、どこで購入されたものでも、無料診断や修理を承ります。



地域・企業連携型ストア

さまざまな地域や企業と協業・連携し、その連携先や地域でくらしのお客様に「くらしに役立つデジタル」を提供。より豊かな生活を楽しんでいただくためのお手伝いをしています。



くらしのデジタル館

その地域や企業ならではのくらしのデジタル課題を解決する店舗として2022年3月より展開

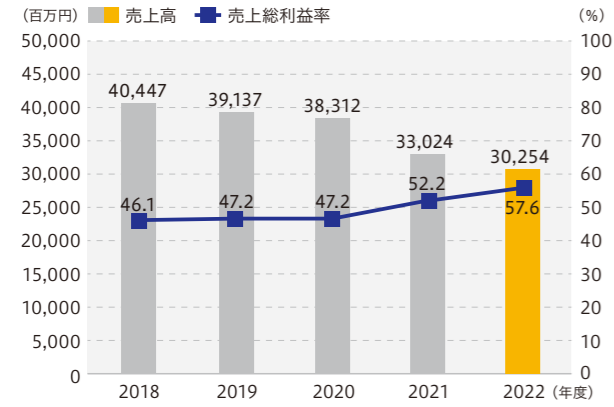
Connected Mobile Store

地域住民のデジタルのお手伝いをする施策「移動デジタル相談」が可能な車両型店舗として2022年1月より展開

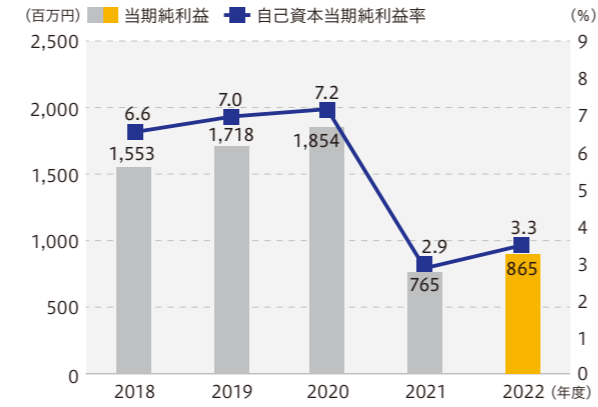
財務ハイライト

非財務ハイライト

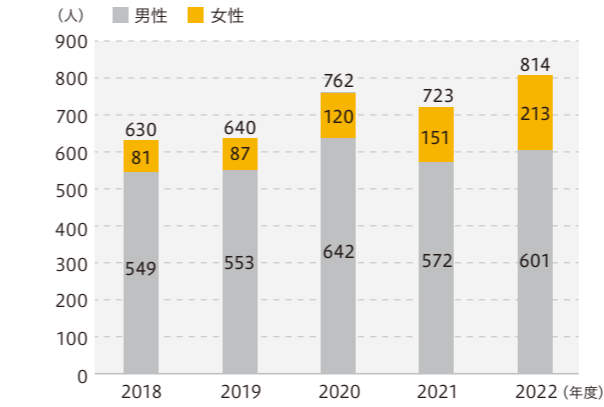
売上高/売上総利益率



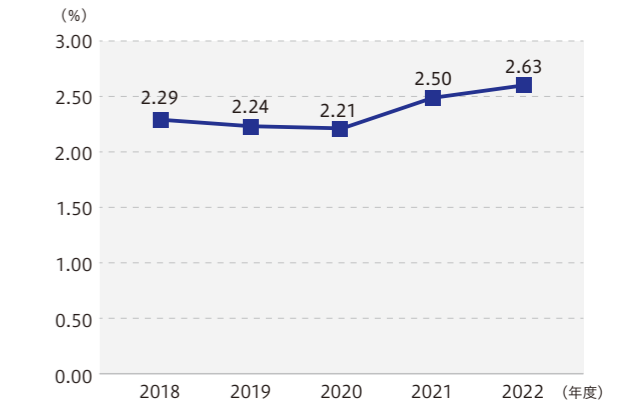
当期純利益/自己資本当期純利益率(ROE)



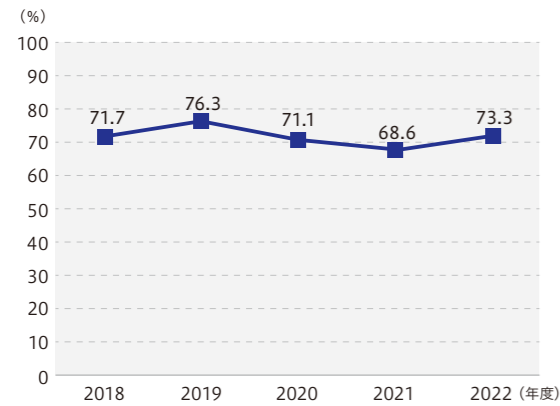
従業員数(単体)



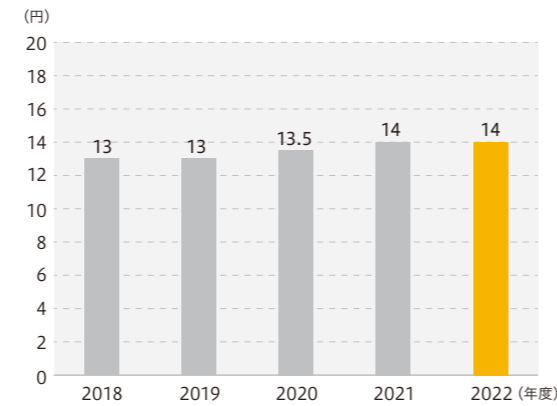
障がい者雇用率(単体)



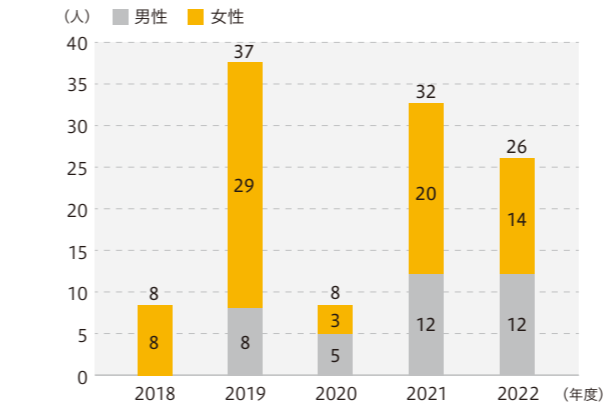
自己資本比率



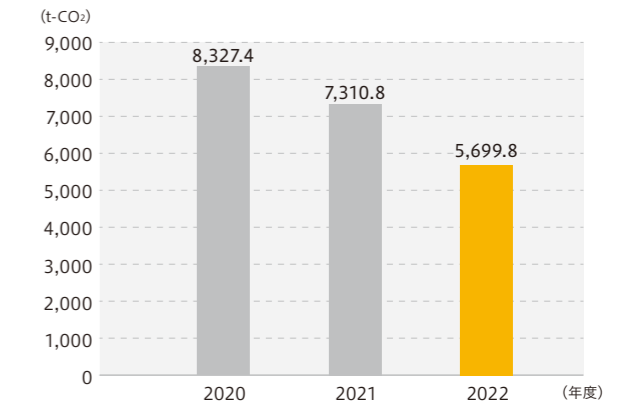
配当額



育児休業取得(単体)

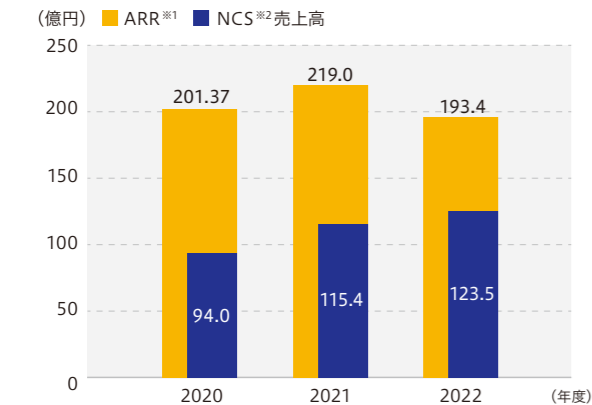


CO₂排出量



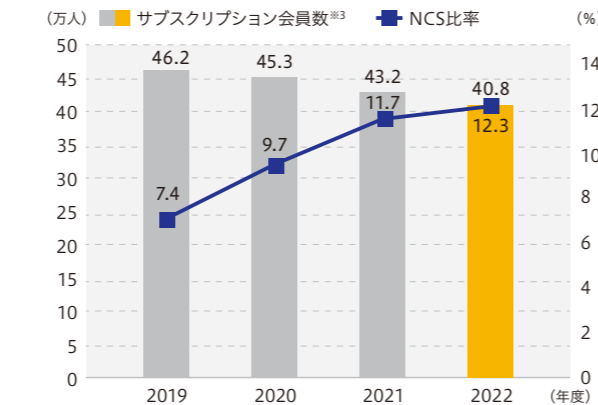
報告対象範囲：スマートライフ店：64 店舗、PC DEPOT：5 店舗、本社：2 拠点(2022 年移転)、くらしのデジタル館：2 館、物流センター：1 拠点 ※一部集計において想定データ含む

サブスクリプション年間売上高(ARR)^{※1}



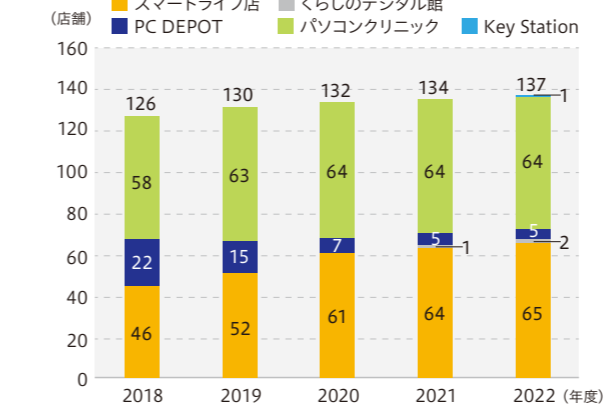
※1 ARR：会員のサブスクリプションに関する年間売上高
※2 NCS：ニューカスタマーサクセス会員

サブスクリプション会員数/NCS比率

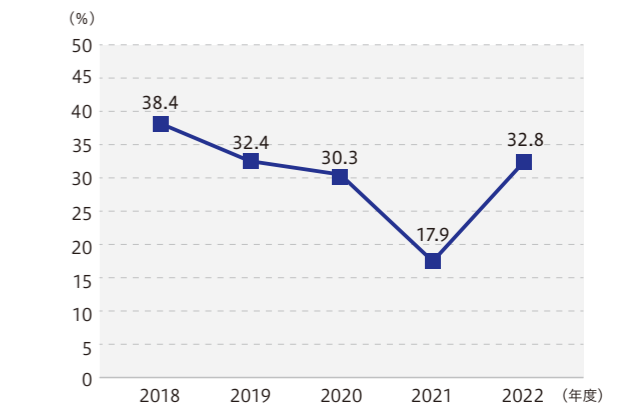


※3 サブスクリプション会員：定額会員制サービス利用会員 (インターネット関連事業における会員を除く)

店舗数/クリニック数



3年以内離職率



報告対象範囲：3 年前に入社した新卒

11カ年主要財務指標

(百万円)	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
売上高合計	49,631	51,359	53,772	51,261	51,729	46,417	43,590	40,447	39,137	38,312	33,024	30,254
商品	35,918	35,425	35,984	30,116	25,720	20,099	17,720	13,895	14,010	14,486	※3	-
サービス	11,497	14,006	16,194	19,696	24,631	24,984	24,566	25,270	23,842	22,558	※3	-
インターネット関連事業 (子会社)	1,842	1,758	1,419	1,310	1,267	1,258	1,241	1,216	1,227	1,203	※3	-
売上総利益	14,665	16,114	18,273	19,472	21,715	21,249	20,044	18,663	18,453	18,076	17,237	17,428
売上総利益率(%)	29.5	31.4	34.0	38.0	42.0	45.8	46.0	46.1	47.2	47.2	52.2	57.6
販売費及び一般管理費合計	14,139	15,246	16,017	16,426	17,628	17,846	17,062	16,083	15,512	15,183	15,786	15,583
広告宣伝費	1,699	1,644	1,276	1,042	1,073	842	1,030	749	638	601	757	385
給料及び手当	4,360	4,800	5,355	5,896	6,449	6,645	6,146	5,737	5,296	5,278	5,194	5,084
営業利益	526	867	2,256	3,045	4,086	3,402	2,981	2,579	2,941	2,893	1,451	1,844
経常利益	684	924	2,357	3,162	4,139	3,467	3,079	2,685	3,018	2,935	1,519	1,787
売上高経常利益率(%)	1.4	1.8	4.4	6.2	8.0	7.5	7.1	6.6	7.7	7.7	4.6	5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	238	441	1,536	1,914	2,693	2,269	1,958	1,553	1,718	1,854	765	865
1株当たり当期純利益(円)	1,082.34	2,020.07	68.39	50.4	67.41	44.06	38.63	30.94	34.18	36.79	15.15	17.09
1株当たり純資産(円)	42,777.48	44,123.77	526.03	394.9	496.19	445.65	462.11	479.94	500.77	524.59	520.96	523.44
自己資本当期純利益率 ^{※1} (%)	2.6	4.7	13.4	13.5	14.8	10.3	8.5	6.6	7.0	7.2	2.9	3.3
総資産経常利益率 ^{※2} (%)	3.2	4.0	9.5	11.3	12.9	9.8	8.7	7.8	9.1	8.4	4.0	4.8
自己資本比率(%)	40.5	42.3	49.3	51.5	60.9	64.4	66.2	71.7	76.3	71.1	68.6	73.3
期末発行済株式総数(株)	225,020	225,020	25,952,000	38,928,000	43,852,000	52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400	52,622,400
自己株式数(株)	6,238	6,238	623,800	937,035	924,735	1,107,585	2,431,425	2,416,545	2,291,506	2,188,866	2,073,806	1,941,766
1株当たり配当金(円)	700	700	355	10	11.5	14.3	13	13	13	13.5	14.0	14.0
配当性向(%)	64.7	34.7	12.4	16.5	17.1	29.5	33.7	42.0	38.0	36.7	92.4	81.9
時価総額	4,635	5,058	24,732	32,466	48,281	27,995	37,941	23,312	22,575	26,048	15,944	15,576
期末株価(円)	20,600	22,480	953	834	1,101	532	721	443	429	495	303	296

※ 過年度決算の訂正を行った期間の上記数値は、訂正後の数値を反映しております。(対象期間：2011年3月期～2017年3月期)
 ※1 自己資本当期純利益率=当期利益/期首・期末平均自己資本 ※2 総資産経常利益率=経常利益/期首・期末平均総資産
 ※3 2022年3月期にセグメント情報の見直しを行い、個別の開示を取りやめました。

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
店舗												
店舗数合計(直営+子会社)	106	111	111	116	123	125	126	126	130	132	134	137
スマートライフ店	-	-	4	15	25	31	40	46	52	61	64	65
くらしのデジタル館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
PC DEPOT	59	61	57	49	41	36	28	22	15	7	5	5
パソコンクリニック	47	50	50	52	57	58	58	58	63	64	64	64
Key Station												1

会社概要

2023年9月30日現在

社名	株式会社ピーシーデポコーポレーション(略:PCD)
英文社名	PC DEPOT CORPORATION
設立年月日	1994年8月
本社所在地	〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階
資本金	47億3,761万円
決算期	毎年3月31日
会計監査人	新創監査法人
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ご家庭を対象としたデジタル生活の提案及び関連商品やサービスの提供 ●地域に根差したデジタル生活の提案
株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月開催
子会社	<ul style="list-style-type: none"> ●株式会社イージェーワークス 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー18階 TEL:045-522-2879 / FAX:045-522-2869 ●株式会社ピーシーデポストアーズ 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階 ●株式会社フューチャーデザインインベストメント 神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー19階
店舗数	139拠点(横濱Key Station、FC 2拠点含む)
従業員	1,023名(連結)

編集方針

本報告書は、PCデポが社会課題を解決し、くらしの豊かさを実現するためどのように考え、実行しているか会員様を中心に幅広いステークホルダーの皆様にお伝えし、当社グループの活動へのご理解を深めていただけるよう編集しています。

【対象範囲】
株式会社ピーシーデポコーポレーション、およびグループ会社

【対象期間】
2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の実績を中心に、これ以前からの取り組みや直近の活動報告などについても一部掲載しています。

【参考にしたガイドライン】
経済産業省「価値協創ガイドンス」、GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」、ISO26000

【発行時期】
2023年12月(次回:2024年11月予定)

【将来の見通しに関する注意事項】
本報告書には、株式会社ピーシーデポコーポレーションおよびグループ会社についての業績予想や見通しの記述が含まれています。これらの記述は発行日時点において入手可能な情報に基づき、当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後さまざまな外部環境の要因などにより、予想とは異なる結果となる可能性があります。

全てのお宅に
デジタル担当を!!



全国で活躍するDLP

